

事業計画書

令和7年度

社会福祉法人 宝寿会

1. 事業目標

「持続可能な福祉経営の確立」

法人の理念である“思いやり、安全安心、やすらぎ”を基盤とし、地域福祉の拠点としての役割を果たしながら、安定した経営基盤の確立を目指す。限られた資源の中で質の高い福祉サービスを提供し続けるため、財務健全化、施設環境の維持・向上、職員の働きやすさの向上を図る。さらに、コンプライアンスを強化し、地域との連携を深めることで、より安心して持続可能な法人運営の実現を目指します。

2. 達成項目

経営改善計画の策定	予算管理の強化	職員の働きやすさ向上
法人広報活動の強化	持続可能な福祉経営の確立	人材確保と育成
内部統制システムの強化	コンプライアンス 教育の徹底	業務改善活動の推進

3. 法人運営

委員会名	活動目標	活動回数
理事会	法人運営に関する重要な事項を議決するため、定款第12条に基づき開催する。	年2回～3回
評議員会	法人の業務執行等について意思決定するため、定款第26条に基づき開催する。	随時
監事監査	計算書類などの会計監査並びに事業報告を含む業務監査を行う。	年1回
本部会議	法人内の取り決め等の決定を行う。	月1回
施設長会議	事業所の稼働状況屋職員の入退職状況等の報告や運営の課題等の検討を行う。	月1回
管理職 ミーティング	事業所の稼働状況屋職員の入退職状況等の報告や運営の課題等の検討を行う。	月1回

4. 法人役員研修

対象	目的	研修
法人役員	社会情勢や動向を踏まえ、社会福祉法人経営者が果たすべき役割と取り組むべきことなどを理解し習得する。	法人役員研修

5. 職員研修

研修名	研修内容
認知症ケア研修	認知症の理解を深め、適切なケア方法やコミュニケーション技術を習得し、尊厳を守る支援の実践を学ぶ。
プライバシー研修	個人情報の適切な取り扱いや法的責任を学び、利用者の尊厳と権利を守るための具体的な実践方法を確認する。
接遇研修	利用者や家族との適切な対応方法を学び、信頼関係の構築やサービス向上に必要なコミュニケーションを習得する。
倫理・法令遵守研修	福祉職員としての倫理観や法令順守の重要性を理解し、適切な対応や判断力を養うことで業務の適正化を図る。
安全対策研修	事故の発生要因を分析し、予防策や再発防止のための取り組みを学び、利用者の安全を確保する対策を強化する。
緊急時の対応研修	急変時や災害時の対応マニュアルを確認し、迅速かつ適切な判断と行動ができるよう、実践的な知識と技術を習得する。
感染症及び食中毒の発生防止研修	感染症や食中毒のリスクを理解し、予防策や蔓延防止対策を学ぶことで、安全な介護環境を維持する。
身体拘束適正化研修	身体拘束のリスクや法的規制を理解し、適切な代替ケアを、拘束を最小限に抑える取り組みを促進する。
非常災害時対応研修	火災・地震・水害などの災害発生時の対応方法を学び、利用者の安全を確保するための実践的な知識を習得する。
医療に関する研修	高齢者の医療的ケアの基礎知識を学び、医療との連携を強化しながら、安全で適切な介護の提供を目指す。
ターミナルケア研修	終末期のケアのあり方を学び、尊厳を重視した支援方法や家族への対応を含めた総合的なケア技術を習得する。
精神的ケア研修	ストレスやバーンアウトの予防を目的に、メンタルヘルスのセルフケア方法やストレスマネジメントについて学ぶ。
高齢者虐待防止研修	虐待の兆候や対応方法を学び、早期発見・防止策を強化し、適切な支援を提供するための知識を深める。
業務継続計画研修	災害や緊急時における事業継続の重要性を理解し、業務の中断を最小限に抑える計画策定と実践方法を学ぶ
ハラスメント防止研修	ハラスメント防止と安全な職場環境の確保を図り、職員・利用者・家族間の良好な関係維持を目的とする。

事業計画書

令和7年度
特別養護老人ホーム
うぐいす荘

社会福祉法人 宝寿会

1. 事業目標

「安定した経営と組織作り」

入居率向上に向けた情報共有や入退所予測により安定した経営を図るとともに、雇用の維持・定着による職員のスキル向上を目指します。福利厚生充実の有休取得率の向上、ワークライフバランスの推進により、働き続けたい職場づくりと離職率の軽減を進めます。また、生産性向上に向けた業務改善にも取り組みます。さらに職種を超えた連携を深め、互いの専門性を尊重し、知識や技術の継承が進む組織づくりを推進します。

2. 達成項目

入居率の維持・向上	雇用の維持・確保	生産性の向上に向けた業務改善
辞めたくない職場作り	安定した経営と組織作り	リスクマネジメントの強化
多職種連携体制の構築	人材育成	スタッフのスキル向上

3. 年間行事計画

一人ひとりの利用者が、家族や地域住民とともに過ごす時間を作り、めりはりのある生活や馴染みの習慣が継続できるように時節に応じた次の行事を計画する。

月	行事内容	月	行事内容
4月	・花見	10月	・秋祭り
5月	・ドライブ ・ショッピング	11月	・紅葉狩り ・ショッピング
6月	・町内グルメ	12月	・クリスマス会
7月	・七夕まつり ・利用者会議	1月	・初詣 ・利用者会議
8月	・納涼祭	2月	・節分祭
9月	・敬老会 ・ショッピング	3月	・ひな祭り
毎月	・誕生会	・お出かけ	・お楽しみクラブ
偶数月	・遊ビリDay	奇数月	・お菓子販売

4. 各種委員会

法令遵守及びサービスの質の向上を図るため、各委員会で多職種が協働することにより、効果的に事業を展開する。

委員会名	活動目標	活動月
感染対策委員会	発生時の適切な対応の周知	適宜
虐待防止委員会	不適切なケア及び言動が無い対応を目指す	3ヶ月1回
身体拘束適正化委員会		
ハラスメント 対策委員会	職員研修の開催 ハラスメントの無い職場作り	3ヶ月1回
生産性向上委員会	生産性向上ガイドラインの周知	3ヶ月1回
業務継続計画 (BCP)委員会	感染・災害時の初動対応ツール作成	2ヶ月1回
安全対策(事故防止)委員会	事故再発防止策の検討と周知	3ヶ月1回
サービス向上委員会	接遇・環境整備等、より良いサービスの提供	2ヶ月1回
安全衛生委員会	労働災害を未然に防ぐための対策と周知	毎月1回

※ 感染対策・虐待・身体拘束・事故防止については、毎月の各グループ会議・全体会議において協議・検討を実施し、各委員会での協議事項の周知徹底を行っています。

5. 職員研修

職員の資質の向上を図り、より質の高いサービスを実行していくために、毎月、各委員会を中心となって次のとおり施設内研修を実施する。

月	研修名	対象	研修担当
4月	理念・法令遵守に関する研修 褥瘡対策に関する研修	全職員	本部・管理者 看護師
5月	口腔ケア研修(田隅医師講義)	全職員	外部講師
6月	防火・非常災害対策に関する訓練	利用者・職員	防火・防災管理者
	感染症及び食中毒の予防及びまん延の防止に関する研修	全職員	給食・感染症対策委員
7月	口腔ケア研修(歯科衛生士実習)	介護職員	外部講師
8月	事故発生の防止のための研修	全職員	事故防止委員会
9月	身体的拘束等の適正化の為の研修 高齢者虐待防止の研修	全職員	身体拘束適正化委員会 虐待防止委員会

月	研 修 名	対 象	研修担当
10月	感染症及び災害に係る業務継続の為の訓練 感染及び食中毒の予防及びまん延の防止に関する訓練	全職員	感染症対策委員会 業務継続計画委員会
	感染・災害に係る業務継続の為の研修		感染症対策委員会
11月	防火・非常災害対策に関する訓練	利用者・職員	防火管理者
	感染症の予防及びまん延の防止に関する訓練・研修(吐物)	全職員	感染対策委員会
12月	身体的拘束等の適正化の為の研修 高齢者虐待防止の研修	全職員	身体拘束適正化委員会 虐待防止委員会
1月	看取りケアに関する研修 ハラスメント対策研修	全職員	看護師 ハラスメント対策委員会
2月	事故発生の防止のための研修 感染症及び災害に係る業務継続の為の訓練・研修(図上・机上訓練)	全職員	事故防止委員会 業務継続計画委員会
3月	認知症対応・接遇に関する研修	全職員	接遇向上委員会 認知症ケア専門職員

※ 研修内容については、本部 web 研修活用、及び、各委員等が担当となります。

※ スキルアップ研修として、介護職員が介護知識や技術をスキルアップできるように年6回以上研修会を企画して実施しています。

6. 購入または改修

今年度、固定資産の購入及び修繕を予算計上する。

購入または改修	金 額	理 由
照明器具(LED)交換工事	14,000,000	光熱費高騰、蛍光灯が製造中止
介護用ベッド購入 20台	3,000,000	手動から電動式に取り換え 職員の腰痛対策のため
電気キュービクル取替え工事	18,000,000	老朽化により取り換え交換時期となっている

事業計画書

令和7年度
うぐいす荘
短期入所者生活介護

社会福祉法人 宝寿会

1. 事業目標

「安定した経営と組織作り」

安定した経営を目指し、多職種連携のもとでサービスの質を高め、ご利用者・ご家族の満足度向上と稼働率の維持・向上に努めます。あわせて、人材の確保と育成の強化に取り組み、働きやすい職場環境づくりを推進します。委員会活動の充実を図るとともに、職員の意識向上と情報共有を促進し、様々なリスクへの対応力を高め、安定した組織体制の確立を目指します。

2. 達成項目

稼働率の維持・向上	ご利用者・家族の満足度向上	サービス内容の充実
多職種連携の強化	<u>安定した経営と組織作り</u>	リスクマネジメントの強化
チームワークの向上	職員のモチベーションの維持・向上	人材の確保・育成

3. 年間行事計画

一人ひとりの利用者が、家族や地域住民とともに過ごす時間を作り、めりはりのある生活や馴染みの習慣が継続できるように時節に応じた次の行事を計画する。

月	行事内容	月	行事内容
4月	・花見	10月	・秋祭り
5月	・ドライブ ・ショッピング	11月	・紅葉狩り ・ショッピング
6月	・町内グルメ	12月	・クリスマス会
7月	・七夕まつり ・利用者会議	1月	・初詣 ・利用者会議
8月	・納涼祭	2月	・節分祭
9月	・敬老会 ・ショッピング	3月	・ひな祭り
毎月	・誕生会	・お出かけ	・お楽しみクラブ
偶数月	・遊ビリDay	奇数月	・お菓子販売

4. 各種委員会

法令遵守及びサービスの質の向上を図るため、各委員会で多職種が協働することにより、効果的に事業を展開する。

委員会名	活動目標	活動月
感染対策委員会	発生時の適切な対応の周知	適宜
虐待防止委員会	不適切なケア及び言動が無い対応を目指す	3ヶ月1回
身体拘束適正化委員会		
ハラスメント 対策委員会	職員研修の開催 ハラスメントの無い職場作り	3ヶ月1回
生産性向上委員会	生産性向上ガイドラインの周知	3ヶ月1回
業務継続計画 (BCP)委員会	感染・災害時の初動対応ツール作成	2ヶ月1回
安全対策(事故防止)委員会	事故再発防止策の検討と周知	3ヶ月1回
サービス向上委員会	接遇・環境整備等、より良いサービスの提供	2ヶ月1回
安全衛生委員会	労働災害を未然に防ぐための対策と周知	毎月1回

※ 感染対策・虐待・身体拘束・事故防止については、毎月の各グループ会議・全体会議において協議・検討を実施し、各委員会での協議事項の周知徹底を行っています。

※ 生産性向上委員会は、業務改善の取り組みを考案し、継続的に評価するための委員会。委員会の設置は3年の経過措置期間を経て、2027年度からは本格的に義務化される。多職種からメンバーを選出。それぞれの視点から現場の課題を抽出・分析を行ったうえで、業務改善のための具体策を講じる。効率よく生産性の向上を図るには定期的に取り組みの考課を評価する

※ 「生産性向上ガイドライン」厚労省

5. 職員研修

職員の資質の向上を図り、より質の高いサービスを実行していくために、毎月、各委員会が中心となって次のとおり施設内研修を実施する。

月	研修名	対象	研修担当
4月	理念・法令遵守に関する研修 褥瘡対策に関する研修	全職員	本部・管理者 看護師
5月	口腔ケア研修(田隅医師講義)	全職員	外部講師

月	研 修 名	対 象	研修担当
6 月	防火・非常災害対策に関する訓練	利用者・職員	防火・防災管理者
	感染症及び食中毒の予防及びまん延の防止に関する研修	全職員	給食・感染症対策委員
7 月	口腔ケア研修(歯科衛生士実習)	介護職員	外部講師
8 月	事故発生の防止のための研修	全職員	事故防止委員会
9 月	身体的拘束等の適正化の為の研修 高齢者虐待防止の研修	全職員	身体拘束適正化委員会 虐待防止委員会
10 月	感染症及び災害に係る業務継続の為の訓練	全職員	感染症対策委員会 業務継続計画委員会
	感染及び食中毒の予防及びまん延の防止に関する訓練		
	感染・災害に係る業務継続の為の研修		感染症対策委員会
11 月	防火・非常災害対策に関する訓練	利用者・職員	防火管理者
	感染症の予防及びまん延の防止に関する訓練・研修(吐物)	全職員	感染対策委員会
12 月	身体的拘束等の適正化の為の研修 高齢者虐待防止の研修	全職員	身体拘束適正化委員会 虐待防止委員会
1 月	看取りケアに関する研修 ハラスメント対策研修	全職員	看護師 ハラスメント対策委員会
2 月	事故発生の防止のための研修 感染症及び災害に係る業務継続の為の訓練・研修(図上・机上訓練)	全職員	事故防止委員会 業務継続計画委員会
3 月	認知症対応・接遇に関する研修	全職員	接遇向上委員会 認知症ケア専門職員

※ 研修内容については、本部 web 研修活用、及び、各委員等が担当となります。

※ スキルアップ研修として、介護職員が介護知識や技術をスキルアップできるように年6回以上研修会を企画して実施しています。

6. 購入または改修

今年度、固定資産の購入及び修繕を予算計上する。

購入または改修	金 額	理 由

事業計画書

令和7年度
うぐいす荘
通所介護事業所

社会福祉法人 宝寿会

1. 事業目標

「心も身体も元気になるデイサービス」

通常のサービス(送迎・入浴・ケア等)の充実はもちろん、ご利用者一人ひとりの「こうしたい・こう在りたい」という思いに寄り添い、在宅生活の継続を支える支援を提供します。「また来たい」「ずっと通いたい」と思っただけのデイサービスを目指し、稼働率の向上にも重点を置き、加算取得や新規利用者の開拓、利用の定着に努めてまいります。

2. 達成項目

おもてなしの気持ち	ご利用者の思いの実現に向けた支援	情報共有と多職種連携(家族・地域も)の強化
職員のスキルアップ	<u>心も身体も元気になる</u> <u>デイサービス</u>	リスクマネジメントの強化
安心できる居心地の良い環境	趣味や特技が楽しめる	食えること、外出の楽しみがある

3. 年間行事計画

一人ひとりの利用者を楽しんでもらえるよう、食べる楽しみ・外へ出る楽しみを中心に考えました。また、昔やっていた事や新しい事にも挑戦し達成感や満足感を得てもらえるよう次の行事を計画しました。

月	行事内容	月	行事内容
4月	・花見 ・お取り寄せスイーツ ・買い物ツアー	10月	・おやつ作り ・運動会 ・買い物ツアー
5月	・スイーツバイキング ・買い物ツアー	11月	・たこ焼きパーティ ・焼き芋会 ・お出かけ
6月	・あじさい見学 ・買い物ツアー	12月	・クリスマスケーキ作り ・忘年会
7月	・焼きそばパーティ ・駄菓子屋さん	1月	・書初め大会 ・新年会 ・ぜんざいの日
8月	・焼きそばパーティ ・夏祭り ・おやつ作り	2月	・巻き寿司作り・お出かけ ・たこ焼きパーティ
9月	・演芸会 ・運動会	3月	・ひな祭り ・おやつ作り
毎月	・誕生会 ・クラフト制作		・ゲーム

4. 各種委員会

法令遵守及びサービスの質の向上を図るため、各委員会で多職種が協働することにより、効果的に事業を展開する。

委員会名	活動目標	活動月
感染対策委員会	発生時の適切な対応の周知	適宜
虐待防止委員会	不適切なケア及び言動が無い対応を目指す	3ヶ月1回
身体拘束適正化委員会		
ハラスメント 対策委員会	職員研修の開催 ハラスメントの無い職場作り	3ヶ月1回
生産性向上委員会	生産性向上ガイドラインの周知	3ヶ月1回
業務継続計画 (BCP)委員会	感染・災害時の初動対応ツール作成	2ヶ月1回
安全対策(事故防止)委員会	事故再発防止策の検討と周知	3ヶ月1回
サービス向上委員会	接遇・環境整備等、より良いサービスの提供	2ヶ月1回
安全衛生委員会	労働災害を未然に防ぐための対策と周知	毎月1回

※ 感染対策・虐待・身体拘束・事故防止については、毎月の各グループ会議・全体会議において協議・検討を実施し、各委員会での協議事項の周知徹底を行っています。

5. 職員研修

職員の資質の向上を図り、より質の高いサービスを実行していくために、毎月、各委員会
が中心となって次のとおり施設内研修を実施する。

月	研修名	対象	研修担当
4月	理念・法令遵守に関する研修 褥瘡対策に関する研修	全職員	本部・管理者 看護師
5月	口腔ケア研修(田隅医師講義)	全職員	外部講師
6月	防火・非常災害対策に関する訓練	利用者・職員	防火・防災管理者
	感染症及び食中毒の予防及びまん延の防止に関する研修	全職員	給食・感染症対策委員
7月	口腔ケア研修(歯科衛生士実習)	介護職員	外部講師
8月	事故発生の防止のための研修	全職員	事故防止委員会
9月	身体的拘束等の適正化の為の研修 高齢者虐待防止の研修	全職員	身体拘束適正化委員会 虐待防止委員会

月	研 修 名	対 象	研修担当
10 月	感染症及び災害に係る業務継続の為の訓練 感染及び食中毒の予防及びまん延の防止に関する訓練	全職員	感染症対策委員会 業務継続計画委員会
	感染・災害に係る業務継続の為の研修		感染症対策委員会
11 月	防火・非常災害対策に関する訓練	利用者・職員	防火管理者
	感染症の予防及びまん延の防止に関する訓練・研修(吐物)	全職員	感染対策委員会
12 月	身体的拘束等の適正化の為の研修 高齢者虐待防止の研修	全職員	身体拘束適正化委員会 虐待防止委員会
1 月	看取りケアに関する研修 ハラスメント対策研修	全職員	看護師 ハラスメント対策委員会
2 月	事故発生の防止のための研修 感染症及び災害に係る業務継続の為の訓練・研修(図上・机上訓練)	全職員	事故防止委員会 業務継続計画委員会
3 月	認知症対応・接遇に関する研修	全職員	接遇向上委員会 認知症ケア専門職員

※ 研修内容については、本部 web 研修活用、及び、各委員等が担当となります。

※ スキルアップ研修

※ 外部講師(作業療法士・理学療法士)を招き、専門家の視点で身体介護、リハビリなど、デイ職員全員でスキルアップできるように研修に取り組んでいます(毎月 1 回)

6. 購入または改修

今年度、固定資産の購入及び修繕を予算計上する。

購入または改修	金額	理由
照明器具(LED)交換工事	2,000,000	光熱費高騰、蛍光灯が製造中止

事業計画書

令和7年度
うぐいす荘
居宅介護支援事業所

社会福祉法人 宝寿会

1. 事業目標

「業務の効率化と質の向上」

事業運営の安定化を図るとともに、働きやすい環境の整備や質の高いケアマネジメントの提供に努めます。ご利用者・ご家族との信頼関係を築きながら、迅速かつ丁寧な対応を心がけます。あわせて、地域との連携強化や人材育成を推進し、リスクマネジメントの徹底により、安心・安全なサービス提供体制の構築を目指します。

2. 達成項目

事業運営の安定化	併設事業所との連携	働きやすい環境整備
多職種との連携強化	<u>業務の効率化と</u> <u>質の向上</u>	質の高い ケアマネジメントの提供
ケアマネの成長	リスクマネジメントの徹底	地域との連携

3. 各種委員会

法令遵守及びサービスの質の向上を図るため、各委員会で多職種が協働することにより、効果的に事業を展開する。

委員会名	活動目標	活動月
感染対策委員会	発生時の適切な対応の周知	適宜
虐待防止委員会	不適切なケア及び言動が無い対応を目指す	3ヶ月1回
身体拘束適正化委員会		
ハラスメント 対策委員会	職員研修の開催 ハラスメントの無い職場作り	3ヶ月1回
生産性向上委員会	生産性向上ガイドラインの周知	3ヶ月1回
業務継続計画 (BCP)委員会	感染・災害時の初動対応ツール作成	2ヶ月1回
安全対策(事故防止)委員会	事故再発防止策の検討と周知	3ヶ月1回
サービス向上委員会	接遇・環境整備等、より良いサービスの提供	2ヶ月1回
安全衛生委員会	労働災害を未然に防ぐための対策と周知	毎月1回

4. 介護支援専門員研修

対人援助職としてのスキルを身につけ、ケアマネジメントの実践力を高め、利用者の自立支援に向けたケアプラン作成や多職種連携を目指す。

研修主催	研修内容	回数
介護支援専門員協会神崎郡支部	気づきの事例検討会 ケアマネジメント研修会 新人 CM 勉強会	2ヶ月に1回 年2回 月1回
神崎郡在宅医療 介護連携支援センター	顔の見える多職種研修会	年6回
町内ケアマネ連絡会	研修会・事例研究	年2回
介護支援専門員協会	スキルアップ研修	研修案内

5. 職員研修

職員の資質の向上を図り、より質の高いサービスを実行していくために、毎月、各委員会が中心となって次のとおり施設内研修を実施する。

月	研修名	対象	研修担当
4月	理念・法令遵守に関する研修 褥瘡対策に関する研修	全職員	本部・管理者 看護師
5月	口腔ケア研修(田隅医師講義)	全職員	外部講師
6月	防火・非常災害対策に関する訓練	利用者・職員	防火・防災管理者
	感染症及び食中毒の予防及びまん延の防止に関する研修	全職員	給食・感染症対策委員
7月	口腔ケア研修(歯科衛生士実習)	介護職員	外部講師
8月	事故発生の防止のための研修	全職員	事故防止委員会
9月	身体的拘束等の適正化の為の研修 高齢者虐待防止の研修	全職員	身体拘束適正化委員会 虐待防止委員会
10月	感染症及び災害に係る業務継続の為の訓練	全職員	感染症対策委員会 業務継続計画委員会
	感染及び食中毒の予防及びまん延の防止に関する訓練		感染症対策委員会
11月	感染・災害に係る業務継続の為の研修	利用者・職員	防火管理者
	防火・非常災害対策に関する訓練		感染対策委員会
	感染症の予防及びまん延の防止に関する訓練・研修(吐物)	全職員	

月	研 修 名	対 象	研修担当
12月	身体的拘束等の適正化の為の研修 高齢者虐待防止の研修	全職員	身体拘束適正化委員会 虐待防止委員会
1月	看取りケアに関する研修 ハラスメント対策研修	全職員	看護師 ハラスメント対策委員会
2月	事故発生の防止のための研修 感染症及び災害に係る業務継続の為 の訓練・研修(図上・机上訓練)	全職員	事故防止委員会 業務継続計画委員会
3月	認知症対応・接遇に関する研修	全職員	接遇向上委員会 認知症ケア専門職員

※ 研修内容については、本部 web 研修活用、及び、各委員等が担当となります。

② 事業所内

介護支援専門員として資質の向上と人材育成につながる機会となるように月 1 回事業所内での勉強会を実施する。

- 適切なケアマネジメント手法
- 介護保険に関する最新情報

6. 購入または改修

今年度、固定資産の購入及び修繕を予算計上する。

購入または改修	金額	理由

事業計画書

令和7年度
地域密着型
特別養護老人ホーム
うぐいす荘

社会福祉法人 宝寿会

1. 事業目標

「安心と働きがいを両立する」

入居者に選ばれる施設づくりを推進し、安定した入居率を維持します。職員が安心して働ける環境を整え、業務改善による効率化と質の高いケアの提供を両立。多職種が連携し支え合う体制を築きながら、人材育成とスキル向上を図ります。働き続けたい職場づくりの実現を目指します。

2. 達成項目

入居率の維持・向上	雇用の維持・確保	生産性の向上に向けた業務改善
メンタル対策の強化	<u>安心と働きがい</u> <u>を</u> <u>両立する</u>	リスクマネジメントの強化
ケアカンファレンスの強化	人材育成	ケア内容の見直し

3. 年間行事計画

一人ひとりの利用者が、家族や地域住民とともに過ごす時間を作り、メリハリのある生活や馴染みの習慣が継続できるように時節に応じた次の行事を計画する。

月	行事内容	月	行事内容
4月	・花見	10月	・秋祭り
5月	・ドライブ ・ショッピング	11月	・紅葉狩り ・ショッピング
6月	・町内グルメ	12月	・クリスマス会
7月	・七夕まつり ・利用者会議	1月	・初詣 ・利用者会議
8月	・納涼祭	2月	・節分祭
9月	・敬老会 ・ショッピング	3月	・ひな祭り
毎月	・誕生会	・茶処	お楽しみクラブ
偶数月	・遊びりDay	奇数月	・お菓子販売

4. 各種委員会

法令遵守及びサービスの質の向上を図るため、各委員会で多職種が協働することにより、効果的に事業を展開する。

委員会名	活動目標	活動月
感染対策委員会	発生時の適切な対応の周知	適宜
虐待防止委員会	不適切なケア及び言動が無い対応を目指す	3ヶ月1回
身体拘束適正化委員会		
ハラスメント対策委員会	職員研修の開催 ハラスメントの無い職場作り	3ヶ月1回
生産性向上委員会	生産性向上ガイドラインの周知	3ヶ月1回
業務継続計画(BCP)委員会	感染・災害時の初動対応ツール作成	2ヶ月1回
安全対策(事故防止)委員会	事故再発防止策の検討と周知	3ヶ月1回
サービス向上委員会	接遇・環境整備等、より良いサービスの提供	2ヶ月1回
安全衛生委員会	労働災害を未然に防ぐための対策と周知	毎月1回

※ 感染対策・虐待・身体拘束・事故防止については、毎月の各グループ会議・全体会議において協議・検討を実施し、各委員会での協議事項の周知徹底を行っています。

5. 職員研修

職員の資質の向上を図り、より質の高いサービスを実行していくために、毎月、各委員会が中心となって次のとおり施設内研修を実施する。

月	研修名	対象	研修担当
4月	理念・法令遵守に関する研修 褥瘡対策に関する研修	全職員	本部・管理者 看護師
5月	口腔ケア研修(田隅医師講義)	全職員	外部講師
6月	防火・非常災害対策に関する訓練	利用者・職員	防火・防災管理者
	感染症及び食中毒の予防及びまん延の防止に関する研修	全職員	給食・感染症対策委員
7月	口腔ケア研修(歯科衛生士実習)	介護職員	外部講師
8月	事故発生の防止のための研修	全職員	事故防止委員会
9月	身体的拘束等の適正化の為の研修 高齢者虐待防止の研修	全職員	身体拘束適正化委員会 虐待防止委員会

月	研 修 名	対 象	研修担当
10 月	感染症及び災害に係る業務継続の為の訓練 感染及び食中毒の予防及びまん延の防止に関する訓練	全職員	感染症対策委員会 業務継続計画委員会
	感染・災害に係る業務継続の為の研修		感染症対策委員会
11 月	防火・非常災害対策に関する訓練	利用者・職員	防火管理者
	感染症の予防及びまん延の防止に関する訓練・研修(吐物)	全職員	感染対策委員会
12 月	身体的拘束等の適正化の為の研修 高齢者虐待防止の研修	全職員	身体拘束適正化委員会 虐待防止委員会
1 月	看取りケアに関する研修 ハラスメント対策研修	全職員	看護師 ハラスメント対策委員会
2 月	事故発生の防止のための研修 感染症及び災害に係る業務継続の為の訓練・研修(図上・机上訓練)	全職員	事故防止委員会 業務継続計画委員会
3 月	認知症対応・接遇に関する研修	全職員	接遇向上委員会 認知症ケア専門職員

※ 研修内容については、本部 web 研修活用、及び、各委員等が担当となります。

※ スキルアップ研修として、介護職員が介護知識や技術をスキルアップできるように年6回以上研修会を企画して実施しています。

6. 購入または改修

今年度、固定資産の購入及び修繕を予算計上する。

購入または改修	金額	理由
照明器具(LED)交換工事	10,000,000	光熱費高騰、蛍光灯が製造中止
電気キュービクル取替え工事	8,000,000	朽化により取り換え交換時期となっている

事業計画書

令和7年度
グループホーム
ゆうゆう

社会福祉法人 宝寿会

1. 事業目標

「自己決定を尊重した、あたりまえの暮らし」

“自己決定を尊重した、あたりまえの暮らし”の実現を目指し、認知症ケアの充実や個別性を重視したケア、楽しい食事時間の提供、居心地の良い生活環境づくりに取り組みます。感染症対策とBCP周知を徹底し、家族・地域・医療との連携を強化。職員の専門性向上とチーム力を高め、誰もが安心して暮らせる福祉の場を創出します。

2. 達成項目

認知症ケアの充実	居心地の良い空間での 美味しい食事	個別性を重視 したケア
安定した施設運営	<u>自己決定を尊重した</u> <u>あたりまえの暮らし</u>	地域との交流 連携の強化
介護力・専門性の向上とチ ームワークの強化	家族との協力体制の 充実	感染症対策の徹底

3. 年間行事計画

一人ひとりの利用者が、家族や地域住民とともに過ごす時間を作り、めりはりのある生活や馴染みの習慣が継続できるように時節に応じた次の行事を計画する。

月	行事内容	月	行事内容
4月	・お花見	10月	・秋祭り ・習字の会 ・ミニ運動会
5月	・ドライブ ・昼食会	11月	・紅葉狩りドライブ ・神河町文化祭
6月	・ドライブ ・習字の会	12月	・クリスマス会
7月	・七夕まつり	1月	・お正月 とんど ・書初め
8月	・夏祭り	2月	・節分祭 ・お茶会
9月	・敬老会	3月	・ひな祭り
毎月	・誕生会 ・お出かけ		

4. 各種委員会

法令遵守及びサービスの質の向上を図るため、各委員会で多職種が協働することにより、効果的に事業を展開する。

委員会名	活動目標	活動月
感染対策委員会	発生時の適切な対応の周知	適宜
虐待防止委員会	不適切なケアや言動がない対応を目指す	3か月1回
身体拘束適正化委員会		3か月1回
ハラスメント 対策委員会	職員研修の開催 ハラスメントのない職場作り	3か月1回
生産性向上委員会	生産性向上ガイドラインの周知	3か月1回
業務継続計画 (BCP)委員会	感染症・災害時の初動対応ツール作成	2か月1回
安全対策(事故防止) 委員会	事故再発防止策の検討と周知	3か月1回
サービス向上委員会	接遇と環境整備等、より良いサービスの提供	2か月1回

※ 感染対策・虐待・身体拘束・事故防止については、毎月のホーム会議で実施し、職員に周知徹底を図っています。

※ 生産性向上委員会は、業務改善の取り組みを考案し、継続的に評価するための委員会。委員会の設置は3年の経過措置期間を経て、2027年度からは本格的に義務化される。多職種からメンバーを選出。それぞれの視点から現場の課題を抽出・分析を行ったうえで、業務改善のための具体策を講じる。効率よく生産性の向上を図るには定期的に取り組みの考課を評価する

※ 「生産性向上ガイドライン」厚労省

5. 職員研修

職員の資質の向上を図り、より質の高いサービスを実行していくために、毎月、各委員会が中心となって次のとおり施設内研修を実施する。

月	研修名	対象	研修担当
4月	理念・法令遵守に関する研修 褥瘡対策に関する研修	全職員	本部・管理者
5月	口腔ケア研修(田隅医師講義)	全職員	外部講師
6月	防火・非常災害対策に関する訓練	利用者・職員	防火・防災管理者
	感染症及び食中毒の予防及びまん延の防止に関する研修	全職員	給食・感染症対策委員
7月	口腔ケア研修(歯科衛生士実習)	介護職員	外部講師
8月	事故発生の防止のための研修	全職員	事故防止委員会

月	研 修 名	対 象	研修担当
9 月	身体的拘束等の適正化の為の研修 高齢者虐待防止の研修	全職員	身体拘束適正化委員会 虐待防止委員会
10 月	感染症及び災害に係る業務継続の為 の訓練 感染及び食中毒の予防及びまん延の 防止に関する訓練	全職員	感染症対策委員会 給食協議会
	感染・災害に係る業務継続の為の研修		感染症対策委員会
11 月	防火・非常災害対策に関する訓練	利用者・職員	防火管理者
	感染症の予防及びまん延の防止に関 する訓練・研修(吐物)	全職員	感染対策委員会
12 月	身体的拘束等の適正化の為の研修 高齢者虐待防止の研修	全職員	身体拘束適正化委員会 虐待防止委員会
1 月	看取りケアに関する研修	全職員	看護師
2 月	事故発生の防止のための研修 感染症及び災害に係る業務継続の為 の訓練・研修	全職員	事故防止委員会 感染症対策委員会
3 月	認知症対応・接遇に関する研修	全職員	接遇向上委員会 認知症ケア専門士

※ 研修内容については、本部 web 研修活用、及び、各委員等が担当となります。

※ スキルアップ研修として、介護職員が介護知識や技術をスキルアップできるように年
6回以上研修会を企画して実施しています。

6. 購入または改修

今年度、固定資産の購入及び修繕を予算計上する。

購入または改修	金 額	理 由
照明器具 (LED) 交換工事	7,000,000	蛍光灯が製造中止の為
洗濯機	100,000	6年使用、脱水が不十分

事業計画書

令和7年度
特別養護老人ホーム
夢の里

社会福祉法人 宝寿会

1. 事業目標

「安心と信頼のケア」

高齢化社会が進行する中で、介護サービスの需要は年々増加しています。私たちは、入居者とそのご家族が心から安心して生活できるような環境づくりに努め、信頼される質の高い介護サービスを提供することを目指します。また、地域社会に開かれた施設として、地域住民との交流や協力を積極的に進め、地域に根ざした施設運営を行ってまいります。地域とのつながりを大切にしながら、入居者の生活の質の向上と地域福祉の発展を目指します。

2. 達成項目

衛生管理の徹底	生活の質の向上	BCPの周知
充実した生活	<u>安心と信頼のケア</u>	家族との協力体制
働きやすい環境作り	多職種との連携	地域との交流を図る

3. 年間行事計画

月	行事内容	月	行事内容
4月	・施設内花見	10月	・ドライブ ・子供会秋祭り
5月	・ドライブ ・昴野小学校運動会見学	11月	・紅葉狩り ・風船バレー大会
6月	・ゲーム大会 ・ドライブ	12月	・忘年会 ・クリスマス会
7月	・七夕会	1月	・初詣(施設内)(施設外) ・新年会 ・新年ゲーム大会
8月	・花火大会 ・夏祭り	2月	・節分祭
9月	・敬老会(合同)	3月	・ひな祭り会 ・ドライブ
毎月	誕生会		

4. 各種委員会

法令遵守及びサービスの質の向上を図るため、各委員会で多職種が協働することにより、効果的に事業を展開する。

委員会名	活動目標	活動回数
身体的拘束 適正化委員会	身体拘束ゼロを目指し、必要に応じた適正対応と施設内での適切な議論・管理を行うことを目的とする。	3ヶ月 1回
虐待防止 委員会	利用者の権利を守り、虐待や身体拘束の防止と適切なケア体制の整備を図ることを目的とする。	3ヶ月 1回
事故防止 対策委員会	事故防止委員会は事故の未然防止と発生時の適切対応を図り、対策と再発防止の実施を目的とする。	3ヶ月 1回
褥瘡予防委員会	褥瘡の対象者やリスクの高い入居者に対する対応策や予防方法について協議し、発生防止と早期対応を図る。	3ヶ月 1回
衛生管理委員会	労働災害の発生状況と再発防止策を協議し、災害の未然防止に向けた対策を講じることを目的とする。	毎月1回
サービス向上 委員会	接遇全般の状況を報告・共有し、信頼される施設を目指して改善を提案・周知徹底します。	3ヶ月 1回
生産性向上 委員会	業務の効率化と職員の負担軽減を図り、より良い介護サービスを提供することを目的とする。	3ヶ月 1回
ハラスメント対策 委員会	ハラスメント防止と安全な職場環境の確保を図り、職員・利用者・家族間の良好な関係維持を目的とする。	3ヶ月 1回
BCP委員会	災害や感染症流行時にも介護サービスを継続し、安全確保を図るBCPの策定・運用を目的とする。	年2回
感染症対策 委員会	感染症の予防、対策に関して協議し各職員への周知を図る。	3ヶ月 1回

5. 職員研修

職員の資質の向上を図り、より質の高いサービスを実行していくために、毎月、各委員会が中心となって次のとおり施設内研修を実施する。

月	研修内容
4月	・理念、倫理研修 モラル、マナーに関する研修
5月	・BCP研修
6月	・ハラスメントに関する研修 ・食中毒に関する研修
7月	・事故防止、発生時対応に関する研修

月	研 修 内 容
8 月	・権利擁護に関する研修 ・身体拘束適正化のための研修 ・虐待防止に関する研修
9 月	・防災及び災害に関する業務継続の為の研修と訓練
10 月	・感染症に関する研修と訓練
11 月	・認知症に関する研修 ・コミュニケーションに関する研修
12 月	・ケアプランに関する研修 ・看取りに関する研修
1 月	・感染症に関する業務継続の為の研修と訓練
2 月	・実技研修
3 月	・事業計画に対する報告

※ 本部研修(オンライン)は毎月、職員全員が視聴

6. 購入または改修

今年度、固定資産の購入及び修繕を予算計上する。

購入または改修	金 額	理 由
電動ベッドへ入れ替え(特養)	3,000,000	手動ベッドが多く、職員の腰痛予防や生産性の向上の視点から入れ替えが必要。
火災報知器通報設備交換	539,000	消防設備点検時に不良が判明し交換が必要なため。
高圧キュービクル交換	500,000	経年により交換が必要なため。

事業計画書

令和7年度
夢の里
短期入所生活介護事業所

社会福祉法人 宝寿会

1. 事業目標(コンセプト)

「利用率の向上」

多くの方にご利用いただけるよう、サービスの質の向上に努めるとともに、利用者の方が安心して快適に過ごせる環境づくりを進めます。また、職員にとっても働きやすい職場環境を整備し、やりがいを持って業務に取り組める体制を整えます。さらに、利用者やご家族の希望や悩みに丁寧に耳を傾け、それぞれに応じたきめ細かなサポートを行うことで、満足度と利用率の向上を目指します。

2. 達成項目

サービスの品質向上	広報活動の強化	環境整備
職員の育成	<u>利用率の向上</u>	家族支援の強化
働きやすい環境作り	利用者ニーズの把握と対応	事業計画の定期的な見直し

3. 年間行事計画

一人ひとりの利用者が、家族や地域住民とともに過ごす時間を作り、メリハリのある生活や馴染みの習慣が継続できるように時節に応じた次の行事を計画する。

月	行事内容	月	行事内容
4月	・花見ドライブ	10月	・ハロウィン ・秋祭り
5月	・ドライブ	11月	・紅葉狩り
6月	・ゲーム大会	12月	・イルミネーション点灯式 ・クリスマス会 ・忘年会
7月	・七夕まつり	1月	・施設内初詣・正月遊び ・初詣外出
8月	・夏祭り	2月	・節分祭
9月	・敬老会(合同)	3月	・ひな祭り ・ドライブ

4. 各種委員会

法令遵守及びサービスの質の向上を図るため、各委員会で多職種が協働することにより、効果的に事業を展開する。

委員会名	活動目標	活動回数
身体的拘束 適正化委員会	身体拘束ゼロを目指し、必要に応じた適正対応と施設内での適切な議論・管理を行うことを目的とする。	3ヶ月 1回
虐待防止 委員会	利用者の権利を守り、虐待や身体拘束の防止と適切なケア体制の整備を図ることを目的とする。	3ヶ月 1回
事故防止 対策委員会	事故防止委員会は事故の未然防止と発生時の適切対応を図り、対策と再発防止の実施を目的とする。	3ヶ月 1回
褥瘡予防委員会	褥瘡の対象者やリスクの高い入居者に対する対応策や予防方法について協議し、発生防止と早期対応を図る。	3ヶ月 1回
衛生管理委員会	労働災害の発生状況と再発防止策を協議し、災害の未然防止に向けた対策を講じることを目的とする。	毎月1回
サービス向上 委員会	接遇全般の状況を報告・共有し、信頼される施設を目指して改善を提案・周知徹底します。	3ヶ月 1回
生産性向上 委員会	業務の効率化と職員の負担軽減を図り、より良い介護サービスを提供することを目的とする。	3ヶ月 1回
ハラスメント対策 委員会	ハラスメント防止と安全な職場環境の確保を図り、職員・利用者・家族間の良好な関係維持を目的とする。	3ヶ月 1回
BCP 委員会	災害や感染症流行時にも介護サービスを継続し、安全確保を図るBCPの策定・運用を目的とする。	年2回
感染症対策 委員会	感染症の予防、対策に関して協議し各職員への周知を図る。	3ヶ月 1回

5. 職員研修

職員の資質の向上を図り、より質の高いサービスを実行していくために、毎月、各委員会が中心となって次のとおり施設内研修を実施する。

月	研修内容
4月	・理念、倫理研修 モラル、マナーに関する研修
5月	・BCP研修
6月	・ハラスメントに関する研修 ・食中毒に関する研修
7月	・事故防止、発生時対応に関する研修
8月	・権利擁護に関する研修 ・身体拘束適正化のための研修 ・虐待防止に関する研修
9月	・防災及び災害に関する業務継続の為の研修と訓練
10月	・感染症に関する研修と訓練
11月	・認知症に関する研修 ・コミュニケーションに関する研修
12月	・ケアプランに関する研修 ・看取りに関する研修

月	研 修 内 容
1 月	・感染症に関する業務継続の為の研修と訓練
2 月	・実技研修
3 月	・事業計画に対する報告

※ 本部研修(オンライン)は毎月、職員全員が視聴

6. 購入または改修

今年度、固定資産の購入及び修繕を予算計上する。

購入または改修	金 額	理 由

事業計画書

令和7年度
夢の里
地域密着型通所介護事業所

社会福祉法人 宝寿会

1. 事業目標(コンセプト)

「日常生活のサポート」

一人ひとりの尊厳を大切にし、日常生活のサポートを通じて自立と安心を支える福祉サービスを提供します。基本的な生活援助に加え、家族との連携や社会的交流を促進し、個別ケアプランに基づく支援を実施。生活機能訓練、安全確保、精神的サポート、健康管理にも力を注ぎ、心豊かな暮らしの実現を目指します。

2. 達成項目

基本的な生活援助	家族との連携	社会的交流
個別ケアプランの作成	<u>日常生活のサポート</u>	生活機能訓練
安全確保	精神的サポート	健康管理

3. 年間行事計画

一人ひとりの利用者が、家族や地域住民とともに過ごす時間を作り、メリハリのある生活や馴染みの習慣が継続できるように時節に応じた次の行事を計画する。

月	行事内容	月	行事内容
4月	・花見	10月	・ハロウィン運動会
5月	・ドライブ	11月	・紅葉狩り
6月	・季節に沿ったレクリエーション	12月	・クリスマス会 ・忘年会
7月	・七夕会 ・利用者会議	1月	・初詣 ・利用者会議
8月	・納涼祭	2月	・節分祭
9月	・敬老会(合同)	3月	・ひな祭り
毎月	・誕生会		

4. 各種委員会

法令遵守及びサービスの質の向上を図るため、各委員会で多職種が協働することにより、効果的に事業を展開する。法令遵守及びサービスの質の向上を図るため、各委員会で多職種が協働することにより、効果的に事業を展開する。

委員会名	活動目標	活動回数
身体的拘束適正化委員会	身体拘束ゼロを目指し、必要に応じた適正対応と施設内での適切な議論・管理を行うことを目的とする。	3ヶ月 1回
虐待防止委員会	利用者の権利を守り、虐待や身体拘束の防止と適切なケア体制の整備を図ることを目的とする。	3ヶ月 1回
事故防止対策委員会	事故防止委員会は事故の未然防止と発生時の適切対応を図り、対策と再発防止の実施を目的とする。	3ヶ月 1回
褥瘡予防委員会	褥瘡の対象者やリスクの高い入居者に対する対応策や予防方法について協議し、発生防止と早期対応を図る。	3ヶ月 1回
衛生管理委員会	労働災害の発生状況と再発防止策を協議し、災害の未然防止に向けた対策を講じることを目的とする。	毎月1回
サービス向上委員会	接遇全般の状況を報告・共有し、信頼される施設を目指して改善を提案・周知徹底します。	3ヶ月 1回
生産性向上委員会	業務の効率化と職員の負担軽減を図り、より良い介護サービスを提供することを目的とする。	3ヶ月 1回
ハラスメント対策委員会	ハラスメント防止と安全な職場環境の確保を図り、職員・利用者・家族間の良好な関係維持を目的とする。	3ヶ月 1回
BCP委員会	災害や感染症流行時にも介護サービスを継続し、安全確保を図るBCPの策定・運用を目的とする。	年2回
感染症対策委員会	感染症の予防、対策に関して協議し各職員への周知を図る。	3ヶ月 1回

5. 職員研修

職員の資質の向上を図り、より質の高いサービスを実行していくために、毎月、各委員会を中心となって次のとおり施設内研修を実施する。

月	研修内容
4月	・理念、倫理研修 モラル、マナーに関する研修
5月	・BCP研修
6月	・ハラスメントに関する研修 ・食中毒に関する研修
7月	・事故防止、発生時対応に関する研修
8月	・権利擁護に関する研修 ・身体拘束適正化のための研修 ・虐待防止に関する研修
9月	・防災及び災害に関する業務継続の為の研修と訓練
10月	・感染症に関する研修と訓練
11月	・認知症に関する研修 ・コミュニケーションに関する研修
12月	・ケアプランに関する研修 ・看取りに関する研修

月	研 修 内 容
1 月	・感染症に関する業務継続の為の研修と訓練
2 月	・実技研修
3 月	・事業計画に対する報告

※ 本部研修(オンライン)は毎月、職員全員が視聴

6. 購入または改修

今年度、固定資産の購入及び修繕を予算計上する。

購入または改修	金 額	理 由

事業計画書

令和7年度
夢の里
居宅介護支援事業所

社会福祉法人 宝寿会

1. 事業目標

「選ばれる居宅介護支援事業所」

地域や利用者からの信頼を築くため、透明性のある業務運営を徹底し、ケアプラン作成時には丁寧な説明と納得のいく支援を心がけます。実績を一つひとつ積み重ね、利用者やご家族とのコミュニケーションを大切にしながら、安心して生活できる環境づくりと、必要なサポートを適切に提供することを目指します。

2. 達成項目

個別性のある ケアプラン作成	職員の専門性の向上	安全対策と緊急時対応 の確立
稼働率を上げる	選ばれる 居宅介護支援事業所	信頼性の確保
職員のモチベーション向上	業務効率化とICT活用	地域や事業所との 連携強化

3. 各種委員会

法令遵守及びサービスの質の向上を図るため、各委員会で多職種が協働することにより、効果的に事業を展開する。法令遵守及びサービスの質の向上を図るため、各委員会で多職種が協働することにより、効果的に事業を展開する。

委員会名	活動目標	活動回数
身体的拘束 適正化委員会	身体拘束ゼロを目指し、必要に応じた適正対応と施設内での適切な議論・管理を行うことを目的とする。	3ヶ月 1回
虐待防止 委員会	利用者の権利を守り、虐待や身体拘束の防止と適切なケア体制の整備を図ることを目的とする。	3ヶ月 1回
事故防止 対策委員会	事故防止委員会は事故の未然防止と発生時の適切対応を図り、対策と再発防止の実施を目的とする。	3ヶ月 1回
褥瘡予防委員会	褥瘡の対象者やリスクの高い入居者に対する対応策や予防方法について協議し、発生防止と早期対応を図る。	3ヶ月 1回
衛生管理委員会	労働災害の発生状況と再発防止策を協議し、災害の未然防止に向けた対策を講じることを目的とする。	毎月1回
サービス向上 委員会	接遇全般の状況を報告・共有し、信頼される施設を目指して改善を提案・周知徹底します。	3ヶ月 1回
生産性向上 委員会	業務の効率化と職員の負担軽減を図り、より良い介護サービスを提供することを目的とする。	3ヶ月 1回
ハラスメント対策 委員会	ハラスメント防止と安全な職場環境の確保を図り、職員・利用者・家族間の良好な関係維持を目的とする。	3ヶ月 1回

委員会名	活動目標	活動回数
BCP 委員会	災害や感染症流行時にも介護サービスを継続し、安全確保を図る BCP の策定・運用を目的とする。	年 2 回
感染症対策委員会	感染症の予防、対策に関して協議し各職員への周知を図る。	3ヶ月 1回

4. 介護支援専門員研修

対人援助職としてのスキルを身につけ、ケアマネジメントの実践力を高め、利用者の自立支援に向けたケアプラン作成や多職種連携を目指す。

研修内容	研修主催	回数
ケアプラン指導研修	姫路市・地域包括支援センター	年 4 回

5. 職員研修

職員の資質の向上を図り、より質の高いサービスを実行していくために、毎月、各委員会が中心となって次のとおり施設内研修を実施する。

月	研修内容
4月	理念、倫理研修 モラル、マナーに関する研修
5月	BCP 研修
6月	ハラスメントに関する研修 食中毒に関する研修
7月	事故防止、発生時対応に関する研修
8月	権利擁護に関する研修 身体拘束適正化のための研修 虐待防止に関する研修
9月	防災及び災害に関する業務継続の為の研修と訓練
10月	感染症に関する研修と訓練
11月	認知症に関する研修 コミュニケーションに関する研修
12月	ケアプランに関する研修 看取りに関する研修
1月	感染症に関する業務継続の為の研修と訓練
2月	実技研修
3月	事業計画に対する報告

※ 本部研修(オンライン)は毎月、職員全員が視聴

6. 購入または改修

今年度、固定資産の購入及び修繕を予算計上する。

購入または改修	金額	理由

事業計画書

令和7年度
地域密着型特別養護老人ホーム
夢の里

社会福祉法人 宝寿会

1. 事業目標

「ケアの質の向上」

入居者一人ひとりが尊厳を保ち、快適かつ安全に暮らせる環境づくりを大切にします。基本的な支援にとどまらず、個々のニーズに丁寧に寄り添い、心と体の健康を支える質の高いケアを提供します。常にサービスの向上に努め、入居者の豊かな生活と笑顔あふれる毎日を実現することを目指します。

2. 達成項目

多職種との連携	入居者の満足度	コミュニケーション強化
ケアの柔軟な対応	<u>ケアの質の向上</u>	入居者中心のアプローチ
環境整備	生活の質を高める	個別ケアの充実

3. 年間行事計画

一人ひとりの利用者が、家族や地域住民とともに過ごす時間を作り、めりはりのある生活や馴染みの習慣が継続できるように時節に応じた次の行事を計画する。

月	行事内容	月	行事内容
4月	・花見外出	10月	・秋祭り ・ドライブ ・焼き芋
5月	・ドライブ ・カフェ KONOKA	11月	・紅葉狩り ・ドライブ
6月	・昔遊びの日 ・ドライブ	12月	・クリスマス会 ・忘年会
7月	・七夕会 ・カフェ KONOKA	1月	・初詣 ・新年会 ・正月遊び
8月	・ミニ縁日 ・花火	2月	・節分祭 ・カフェ KONOKA
9月	・敬老会（合同） ・カフェ KONOKA	3月	・ひな祭り会 ・ドライブ ・カフェ KONOKA
毎月	・誕生会		

4. 各種委員会

法令遵守及びサービスの質の向上を図るため、各委員会で多職種が協働することにより、効果的に事業を展開する。法令遵守及びサービスの質の向上を図るため、各委員会で多職種が協働することにより、効果的に事業を展開する。

委員会名	活動目標	活動回数
身体的拘束適正化委員会	身体拘束ゼロを目指し、必要に応じた適正対応と施設内での適切な議論・管理を行うことを目的とする。	3ヶ月 1回
虐待防止委員会	利用者の権利を守り、虐待や身体拘束の防止と適切なケア体制の整備を図ることを目的とする。	3ヶ月 1回
事故防止対策委員会	事故防止委員会は事故の未然防止と発生時の適切対応を図り、対策と再発防止の実施を目的とする。	3ヶ月 1回
褥瘡予防委員会	褥瘡の対象者やリスクの高い入居者に対する対応策や予防方法について協議し、発生防止と早期対応を図る。	3ヶ月 1回
衛生管理委員会	労働災害の発生状況と再発防止策を協議し、災害の未然防止に向けた対策を講じることを目的とする。	毎月1回
サービス向上委員会	接遇全般の状況を報告・共有し、信頼される施設を目指して改善を提案・周知徹底します。	3ヶ月 1回
生産性向上委員会	業務の効率化と職員の負担軽減を図り、より良い介護サービスを提供することを目的とする。	3ヶ月 1回
ハラスメント対策委員会	ハラスメント防止と安全な職場環境の確保を図り、職員・利用者・家族間の良好な関係維持を目的とする。	3ヶ月 1回
BCP委員会	災害や感染症流行時にも介護サービスを継続し、安全確保を図るBCPの策定・運用を目的とする。	年2回
感染症対策委員会	感染症の予防、対策に関して協議し各職員への周知を図る。	3ヶ月 1回

5. 職員研修

職員の資質の向上を図り、より質の高いサービスを実行していくために、毎月、各委員会が中心となって次のとおり施設内研修を実施する。

月	研修内容
4月	・理念、倫理研修 モラル、マナーに関する研修
5月	・BCP研修
6月	・ハラスメントに関する研修 ・食中毒に関する研修
7月	・事故防止、発生時対応に関する研修
8月	・権利擁護に関する研修 ・身体拘束適正化のための研修 ・虐待防止に関する研修

月	研 修 内 容
9 月	・防災及び災害に関する業務継続の為の研修と訓練
10 月	・感染症に関する研修と訓練
11 月	・認知症に関する研修 ・コミュニケーションに関する研修
12 月	・ケアプランに関する研修 ・看取りに関する研修
1 月	・感染症に関する業務継続の為の研修と訓練
2 月	・実技研修
3 月	・事業計画に対する報告

※ 本部研修(オンライン)は毎月、職員全員が視聴

6. 購入または改修

今年度、固定資産の購入及び修繕を予算計上する。

購入または改修	金 額	理 由
各居室のエアコン入れ替え (全居室・20室)	2,200,000	開設以来、入替はしておらず、故障による修理費及び出張費等が増えているため。

事業計画書

令和7年度
夢の里 定期巡回

社会福祉法人 宝寿会

1. 事業目標

「一人ひとりを大切にしたサービスの提供」

利用者の生活スタイルや価値観に寄り添い、必要な支援をタイムリーに提供することで、在宅生活の継続を支えます。定期巡回・随時対応型訪問介護看護の特性を最大限に活かし、きめ細やかなサービス提供体制を構築します。職員のスキル向上と連携強化に努め、安心・安全で質の高い在宅ケアの実現を目指します。

2. 達成目標

利用者満足度の確認	接遇研修の実施	訪問看護との連携強化
自立支援の工夫	<u>一人ひとりを大切にしたサービスの提供</u>	ICTの活用促進
記録の適正化	利用者情報の把握	職員間の情報共有

3. 各種委員会

法令遵守及びサービスの質の向上を図るため、各委員会で多職種が協働することにより、効果的に事業を展開する。

委員会名	目的	開催
安全対策委員会	事故防止委員会は事故の未然防止と発生時の適切対応を図り、対策と再発防止の実施を目的とする。	3ヶ月 1回
虐待防止委員会	利用者の権利を守り、虐待や身体拘束の防止と適切なケア体制の整備を図ることを目的とする。	3ヶ月 1回
身体拘束適正化委員会	身体拘束ゼロを目指し、必要に応じた適正対応と施設内での適切な議論・管理を行うことを目的とする。	3ヶ月 1回
感染症対策委員会	感染症や食中毒の予防と発生時の適切対応を図り、施設内の感染リスク最小化を目的とする。	3ヶ月 1回
業務継続計画(BCP)委員会	災害や感染症流行時にも介護サービスを継続し、安全確保を図るBCPの策定・運用を目的とする。	3ヶ月 1回
ハラスメント対策委員会	ハラスメント防止と安全な職場環境の確保を図り、職員・利用者・家族間の良好な関係維持を目的とする。	3ヶ月 1回
生産性向上委員会	業務の効率化と職員の負担軽減を図り、より良い介護サービスを提供することを目的とする。	3ヶ月 1回
安全衛生委員会	労働災害の発生状況と再発防止策を協議し、災害の未然防止に向けた対策を講じることを目的とする。	毎月

4. 職員研修

職員の資質の向上を図り、より質の高いサービスを実行していくために、毎月、各委員会が中心となって次のとおり施設内研修を実施する。

研修名	研修内容	実施
認知症ケア研修	認知症の理解を深め、適切なケア方法やコミュニケーション技術を習得し、尊厳を守る支援の実践を学ぶ。	年1回
プライバシー研修	個人情報の適切な取り扱いや法的責任を学び、利用者の尊厳と権利を守るための具体的な実践方法を確認する。	年1回
接遇研修	利用者や家族との適切な対応方法を学び、信頼関係の構築やサービス向上に必要なコミュニケーションを習得する。	年1回
倫理 法令遵守研修	福祉職員としての倫理観や法令順守の重要性を理解し、適切な対応や判断力を養うことで業務の適正化を図る。	年1回
事故の発生 防止研修	事故の発生要因を分析し、予防策や再発防止のための取り組みを学び、利用者の安全を確保する対策を強化する。	年1回 採用時
緊急時の対応研修	急変時や災害時の対応マニュアルを確認し、迅速かつ適切な判断と行動ができるよう、実践的な知識と技術を習得する。	年1回
感染症及び食中毒 の発生防止研修	感染症や食中毒のリスクを理解し、予防策や蔓延防止対策を学ぶことで、安全な介護環境を維持する。	年1回 採用時
非常災害時 対応研修	火災・地震・水害などの災害発生時の対応方法を学び、利用者の安全を確保するための実践的な知識を習得する。	年1回
高齢者虐待 防止研修	虐待の兆候や対応方法を学び、早期発見・防止策を強化し、適切な支援を提供するための知識を深める。	年1回 採用時
業務継続計画研修	災害や緊急時における事業継続の重要性を理解し、業務の中断を最小限に抑える計画策定と実践方法を学ぶ	年1回 採用時
ハラスメント 防止研修	ハラスメントの種類や事例を学び、発生要因と対応策を理解し、安全で健全な職場環境の整備を目的とする。	年2回

5. 購入または改修

今年度、固定資産の購入及び修繕を予算計上する。

購入または改修	金額	理由

事業計画書

令和7年度
ケアハウス青山苑

社会福祉法人 宝寿会

1. 事業目標

「笑顔あふれるケアハウス」

人生を楽しむ場として、笑顔あふれるケアハウスを目指します。安心とぬくもりの中で、自分らしく暮らせる環境づくりに取り組みます。ふとした会話や趣味・レクリエーションを通じて笑顔と喜びがあふれ、「今日も楽しかった」「明日が楽しみ」と思える日々を大切にします。

2. 達成項目

レクリエーションの実施	笑顔チェックシートの導入	サークルの充実
職員の笑顔づくり	<u>笑顔あふれるケアハウス</u>	健康づくりのサポート
交流の機会を増やす	外出イベントの強化	快適な住環境

3. 年間行事計画

一人ひとりの利用者が、家族や地域住民とともに過ごす時間を作り、めりはりのある生活や馴染みの習慣が継続できるように時節に応じた次の行事を計画する。

月	行事内容	月	行事内容
4月	・花見・たけのこ掘り	10月	・観月会・消防訓練
5月	・端午の節句・菖蒲湯 ・母の日	11月	・文化展 ・イルミネーション飾り
6月	・青山苑創立祭・父の日	12月	・クリスマス会・餅つき ・ゆず湯
7月	・七夕・素麺流し ・BCP訓練	1月	・初詣 ・新年会
8月	・夏祭り	2月	・節分・バレンタイン
9月	・敬老会	3月	・ひな祭り ・消防訓練

4. 各種委員会

法令遵守及びサービスの質の向上を図るため、各委員会で多職種が協働することにより、効果的に事業を展開する。

委員会名	目的	開催
ハラスメント対策委員会	ハラスメント防止と安全な職場環境の確保を図り、職員・利用者・家族間の良好な関係維持を目的とする	年4回

委員会名	目 的	開 催
感染症対策委員会	感染症や食中毒の予防と発生時の適切対応を図り、施設内の感染リスク最小化を目的とする。	年 2 回
虐待防止委員会	利用者の権利を守り、虐待や身体拘束の防止と適切なケア体制の整備を図ることを目的とする。	年 2 回
業務継続計画 (BCP) 委員会	災害や感染症流行時にも介護サービスを継続し、安全確保を図る BCP の策定・運用を目的とする。	年 2 回
安全対策委員会	安全対策委員会は事故の未然防止と発生時の適切対応を図り、対策と再発防止の実施を目的とする。	年 2 回
身体拘束適正化委員会	身体拘束ゼロを目指し、必要に応じて適正な対応を行うために、施設内で適切な議論・管理を行うことを目的とする。	年 2 回
生産性向上委員会	業務の効率化と職員の負担軽減を図り、より良い介護サービスを提供することを目的とする。	年 4 回
安全衛生委員会	労働災害の発生状況と再発防止策を協議し、災害の未然防止に向けた対策を講じることを目的とする。	毎月

5. 職員研修

職員の資質の向上を図り、より質の高いサービスを実行していくために、毎月、各委員会を中心となって次のとおり施設内研修を実施する。

研修名	研 修 内 容	実施
認知症ケア研修	認知症の理解を深め、適切なケア方法やコミュニケーション技術を習得し、尊厳を守る支援の実践を学ぶ。	年 1 回
プライバシー研修	個人情報の適切な取り扱いや法的責任を学び、利用者の尊厳と権利を守るための具体的な実践方法を確認する。	年 1 回
倫理 法令遵守研修	福祉職員としての倫理観や法令順守の重要性を理解し、適切な対応や判断力を養うことで業務の適正化を図る。	年 1 回
安全対策研修	事故の発生要因を分析し、予防策や再発防止のための取り組みを学び、利用者の安全を確保する対策を強化する。	年 2 回 採用時
緊急時の対応 研修	急変時や災害時の対応マニュアルを確認し、迅速かつ適切な判断と行動ができるよう、実践的な知識と技術を習得。	年 2 回
感染症及び中毒 の発生防止研修	感染症や食中毒のリスクを理解し、予防策や蔓延防止対策を学ぶことで、安全な介護環境を維持する。	年 2 回 採用時

研修名	研 修 内 容	実施
身体拘束 排除研修	身体拘束のリスクや法的規制を理解し、適切な代替ケアを、拘束を最小限に抑える取り組みを促進する。	年 2 回 採用時
非常災害時 対応研修	火災・地震・水害などの災害発生時の対応方法を学び、利用者の安全を確保するための実践的な知識を習得。	年 2 回
医療に関する研修	高齢者の医療的ケアの基礎知識を学び、医療との連携を強化しながら、安全で適切な介護の提供を目指す。	年 1 回
ターミナルケア 研修	終末期のケアのあり方を学び、尊厳を重視した支援方法や家族への対応を含めた総合的なケア技術を習得する。	年 1 回
精神的ケア研修	ストレスやバーンアウトの予防を目的に、メンタルヘルスのセルフケア方法やストレスマネジメントについて学ぶ。	年 1 回
高齢者虐待 防止研修	虐待の兆候や対応方法を学び、早期発見・防止策を強化し、適切な支援を提供するための知識を深める。	年 2 回 採用時
業務継続計画研 修	災害や緊急時における事業継続の重要性を理解し、業務の中断を最小限に抑える計画策定と実践方法を学ぶ	年 2 回 採用時
ハラスメント 防止研修	ハラスメント防止と安全な職場環境の確保を図り、職員・利用者・家族間の良好な関係維持を目的とする。	年 1 回

6. 購入または改修

今年度、固定資産の購入及び修繕を予算計上する。

購入または改修	金 額	理 由
ガステーブルの購入	185,000	経年劣化により
ライスメーカーの購入	990,000	経年劣化により
浴室設備改修工事	500,000	経年劣化により
非常階段・滑り台塗装	1,276,000	産業医の指摘、老朽化により
LAN 工事	800,000	マスクエア活用するため

事業計画書

令和7年度
デイサービス テラス青山

社会福祉法人 宝寿会

1. 事業目標

「シニアフィットネス」

従来のデイサービスの枠にとらわれず、フィットネスクラブのような明るく楽しい雰囲気を取り入れた新しいスタイルを目指します。高齢者が年を重ねても心身ともに健康で生き生きと暮らせるよう、誰もが気軽に利用できるサービスを提供します。

2. 達成項目

運動プログラム	食事と栄養	モチベーションの維持
職員の専門知識とスキル向上	<u>シニアフィットネス</u>	健康チェックとモニタリング
社会活動	利用者の声を反映	安全対策

3. 年間行事計画 併設ケアハウス行事に参加する

一人ひとりの利用者が、家族や地域住民とともに過ごす時間を作り、めりはりのある生活や馴染みの習慣が継続できるように時節に応じた次の行事を計画する。

月	行事内容	内容
4月	お花見 たけのこ掘り	四季折々を楽しむ
5月	端午の節句 藤ツアー 母の日	行事イベント 外出行事を楽しんでもらう 記念日としてお祝いプレゼント
6月	青山苑創立祭 父の日	青山苑 25周年、デイ開設 1周年記念イベント
7月	七夕 そうめん流し 防災訓練	笹飾り 手作り竹でのそうめん流し 自然災害時の避難訓練
8月	夏祭り	施設行事に参加
9月	敬老会	敬老祝行事(記念品の贈呈)
10月	紅葉ドライブ	紅葉の散策ツアー
11月	文化展	入居者や地域の高齢者の手作り作品展
12月	クリスマス会 餅つき	サンタプレゼント/子供も招待し 餅つき体験
1月	初詣 新年会	新年の外出行事 新年を祝うイベント

4. 各種委員会

法令遵守及びサービスの質の向上を図るため、各委員会で多職種が協働することにより、効果的に事業を展開する。

委員会名	目 的	開 催
安全対策委員会	事故防止委員会は事故の未然防止と発生時の適切対応を図り、対策と再発防止の実施を目的とする。	3ヶ月 1回
虐待防止委員会	利用者の権利を守り、虐待や身体拘束の防止と適切なケア体制の整備を図ることを目的とする。	3ヶ月 1回
身体拘束適正化委員会	身体拘束ゼロを目指し、必要に応じた適正対応と施設内での適切な議論・管理を行うことを目的とする。	3ヶ月 1回
感染症対策委員会	感染症や食中毒の予防と発生時の適切対応を図り、施設内の感染リスク最小化を目的とする。	3ヶ月 1回
業務継続計画(BCP)委員会	災害や感染症流行時にも介護サービスを継続し、安全確保を図るBCPの策定・運用を目的とする。	3ヶ月 1回
ハラスメント対策委員会	ハラスメント防止と安全な職場環境の確保を図り、職員・利用者・家族間の良好な関係維持を目的とする。	3ヶ月 1回
生産性向上委員会	業務の効率化と職員の負担軽減を図り、より良い介護サービスを提供することを目的とする。	3ヶ月 1回
安全衛生委員会	労働災害の発生状況と再発防止策を協議し、災害の未然防止に向けた対策を講じることを目的とする。	毎月

5. 職員研修及び安全対策

職員の資質の向上を図り、より質の高いサービスを実行していくために、毎月、各委員会が中心となって次のとおり施設内研修を実施する。

研修名	研 修 内 容	実施
認知症ケア研修	認知症の理解を深め、適切なケア方法やコミュニケーション技術を習得し、尊厳を守る支援の実践を学ぶ。	年1回
プライバシー研修	個人情報の適切な取り扱いや法的責任を学び、利用者の尊厳と権利を守るための具体的な実践方法を確認する。	年1回
倫理 法令遵守研修	福祉職員としての倫理観や法令順守の重要性を理解し、適切な対応や判断力を養うことで業務の適正化を図る。	年1回
事故の発生 防止研修	事故の発生要因を分析し、予防策や再発防止のための取り組みを学び、利用者の安全を確保する対策を強化する。	年1回 採用時
緊急時の対応研修	急変時や災害時の対応マニュアルを確認し、迅速かつ適切な判断と行動ができるよう、実践的な知識と技術を習得する。	年1回

研修名	研修内容	実施
感染症及び食中毒の発生防止研修	感染症や食中毒のリスクを理解し、予防策や蔓延防止対策を学ぶことで、安全な介護環境を維持する。	年1回 採用時
身体拘束排除研修	身体拘束のリスクや法的規制を理解し、適切な代替ケアを、拘束を最小限に抑える取り組みを促進する。	年1回 採用時
非常災害時対応研修	火災・地震・水害などの災害発生時の対応方法を学び、利用者の安全を確保するための実践的な知識を習得する。	年1回
高齢者虐待防止研修	虐待の兆候や対応方法を学び、早期発見・防止策を強化し、適切な支援を提供するための知識を深める。	年1回 採用時
業務継続計画研修	災害や緊急時における事業継続の重要性を理解し、業務の中断を最小限に抑える計画策定と実践方法を学ぶ	年1回 採用時
ハラスメント防止研修	ハラスメントの種類や事例を学び、発生要因と対応策を理解し、安全で健全な職場環境の整備を目的とする。	年2回
介護予防及び介護進行予防に関する研修	要介護状態の悪化防止や発生を遅らせるための知識や対策を学ぶ。	年1回

6. 購入または改修

今年度、固定資産の購入及び修繕を予算計上する。

購入または改修	金額	理由
移動式鏡	200,000	歩行・座位姿勢の確認用
カメラ・ビデオ	100,000	サービス向上
椅子・テーブル	100,000	定員増員

7. その他

1. ウォーターサーバーの設置…前年度から継続
 - 運動中の水分補給
2. 血圧計・体温計・運動ツール(ボール・セラバンド)
 - 定員増員に向けて

事業計画書

令和7年度
青山苑ヘルパーステーション

社会福祉法人 宝寿会

1. 事業目標

「思いに寄り添うサービスを」

利用者が住み慣れた地域で安心して暮らし続けられるよう、利用者満足度の向上とご家族への支援を強化し、生活全体を支える自立支援型サービスを推進します。また、ヘルパーの働きやすい環境づくりと人材育成を進め、職員間および他職種との円滑な情報共有体制を整備します。併せて、サービスの質と経営の持続性を両立させる安定運営を目指します。

2. 達成項目

高品質かつ安全なサービスの提供	利用者満足度の向上	利用者様と家族様のサポート
スタッフの育成	<u>思いに寄り添うサービス</u>	職場環境の向上
継続可能な経営	自立支援の促進	他職種との情報共有

3. 各種委員会

法令遵守及びサービスの質の向上を図るため、各委員会で多職種が協働することにより、効果的に事業を展開する。

委員会名	目的	開催
安全対策委員会	事故防止委員会は事故の未然防止と発生時の適切対応を図り、対策と再発防止の実施を目的とする。	3ヶ月 1回
虐待防止委員会	利用者の権利を守り、虐待や身体拘束の防止と適切なケア体制の整備を図ることを目的とする。	3ヶ月 1回
身体拘束適正化委員会	身体拘束ゼロを目指し、必要に応じた適正対応と施設内での適切な議論・管理を行うことを目的とする。	3ヶ月 1回
感染症対策委員会	感染症や食中毒の予防と発生時の適切対応を図り、施設内の感染リスク最小化を目的とする。	3ヶ月 1回
業務継続計画（BCP）委員会	災害や感染症流行時にも介護サービスを継続し、安全確保を図るBCPの策定・運用を目的とする。	3ヶ月 1回
ハラスメント対策委員会	ハラスメント防止と安全な職場環境の確保を図り、職員・利用者・家族間の良好な関係維持を目的とする。	3ヶ月 1回
生産性向上委員会	業務の効率化と職員の負担軽減を図り、より良い介護サービスを提供することを目的とする。	3ヶ月 1回
安全衛生委員会	労働災害の発生状況と再発防止策を協議し、災害の未然防止に向けた対策を講じることを目的とする。	毎月

4. 職員研修

職員の資質の向上を図り、より質の高いサービスを実行していくために、毎月、各委員会が中心となって次のとおり施設内研修を実施する。

研修名	研修内容	実施
認知症ケア研修	認知症の理解を深め、適切なケア方法やコミュニケーション技術を習得し、尊厳を守る支援の実践を学ぶ。	年1回
プライバシー研修	個人情報の適切な取り扱いや法的責任を学び、利用者の尊厳と権利を守るための具体的な実践方法を確認する。	年1回
接遇研修	利用者や家族との適切な対応方法を学び、信頼関係の構築やサービス向上に必要なコミュニケーションを習得する。	年1回
倫理 法令遵守研修	福祉職員としての倫理観や法令順守の重要性を理解し、適切な対応や判断力を養うことで業務の適正化を図る。	年1回
事故の発生 防止研修	事故の発生要因を分析し、予防策や再発防止のための取り組みを学び、利用者の安全を確保する対策を強化する。	年1回 採用時
緊急時の対応研修	急変時や災害時の対応マニュアルを確認し、迅速かつ適切な判断と行動ができるよう、実践的な知識と技術を習得する。	年1回
感染症及び食中毒 の発生防止研修	感染症や食中毒のリスクを理解し、予防策や蔓延防止対策を学ぶことで、安全な介護環境を維持する。	年1回 採用時
非常災害時 対応研修	火災・地震・水害などの災害発生時の対応方法を学び、利用者の安全を確保するための実践的な知識を習得する。	年1回
高齢者虐待 防止研修	虐待の兆候や対応方法を学び、早期発見・防止策を強化し、適切な支援を提供するための知識を深める。	年1回 採用時
業務継続計画研修	災害や緊急時における事業継続の重要性を理解し、業務の中断を最小限に抑える計画策定と実践方法を学ぶ	年1回 採用時
ハラスメント 防止研修	ハラスメントの種類や事例を学び、発生要因と対応策を理解し、安全で健全な職場環境の整備を目的とする。	年2回

5. 購入または改修

今年度、固定資産の購入及び修繕を予算計上する。

購入または改修	金額	理由

事業計画書

令和7年度
サービス付き高齢者向け住宅
宝寿の郷

社会福祉法人 宝寿会

1. 事業目標

「満室にし、利益を上げる」

入居者に満足してもらえる「長屋」のようなサ高住を維持するには、質の高いサービスと安定した収入が不可欠です。満床を保つ入居計画や稼働率向上、利用料の見直しも必要です。高齢・重度化が進む中、当初の「みんなが集える元気な長屋」を再構築し、若返りや軽度化を図り、入居者・職員ともに満足できる環境づくりと利益向上を目指します。

2. 達成項目

計画的な入居計画を立て、稼働率を上げる	SNSを使った広報活動や入居者募集の強化	宝寿の郷独自の長屋くらぶの開催と内容の充実
スタッフの満足度を上げる	満室にし、利益を上げる	利用者の満足度を上げる
利用料の見直し・業務改革を行う	旬の食材を使用したおいしい食事の提供	スタッフの定着とスキル向上 笑顔でサービス

3. 年間行事計画

一人ひとりの利用者が、家族や地域住民とともに過ごす時間を作り、めりはりのある生活や馴染みの習慣が継続できるように時節に応じた次の行事を計画する。

月	行事内容	月	行事内容
4月	・お花見(行事食)	10月	・広畑天満宮秋季大祭 (行事食) ・お楽しみ運動会
5月	・端午の節句 ・第51回夢前川川まつり	11月	・おでかけ ・避難訓練
6月	・熱中症対策開始 ・おでかけ	12月	・イルミネーション点灯 ・クリスマス会
7月	・七夕	1月	・廣畑天満宮初詣
8月	・夏祭り ・運営推進会議	2月	・節分(行事食) ・運営推進会議
9月	・長寿お祝いの会(敬老会)	3月	・ひな祭り(行事食) ・避難訓練
月～土	・長屋くらぶ	月・水	・カフェ
年4回	コーラスボランティア訪問 四季の歌を歌う		

4. 各種委員会

法令遵守及びサービスの質の向上を図るため、各委員会で多職種が協働することにより、効果的に事業を展開する。

委員会名	目 的	開 催
安全対策委員会	事故防止委員会は事故の未然防止と発生時の適切対応を図り、対策と再発防止の実施を目的とする。	3ヶ月 1回
虐待防止委員会	利用者の権利を守り、虐待や身体拘束の防止と適切なケア体制の整備を図ることを目的とする。	3ヶ月 1回
身体拘束適正化委員会	身体拘束ゼロを目指し、必要に応じた適正対応と施設内での適切な議論・管理を行うことを目的とする。	3ヶ月 1回
感染症対策委員会	感染症や食中毒の予防と発生時の適切対応を図り、施設内の感染リスク最小化を目的とする。	3ヶ月 1回
業務継続計画（BCP）委員会	災害や感染症流行時にも介護サービスを継続し、安全確保を図るBCPの策定・運用を目的とする。	3ヶ月 1回
ハラスメント対策委員会	ハラスメント防止と安全な職場環境の確保を図り、職員・利用者・家族間の良好な関係維持を目的とする。	3ヶ月 1回
生産性向上委員会	業務の効率化と職員の負担軽減を図り、より良い介護サービスを提供することを目的とする。	3ヶ月 1回

5. 職員研修

職員の資質の向上を図り、より質の高いサービスを実行していくために、毎月、各委員会が中心となって次のとおり施設内研修を実施する。

研修名	研 修 内 容	実施
認知症ケア研修	認知症の理解を深め、適切なケア方法やコミュニケーション技術を習得し、尊厳を守る支援の実践を学ぶ。	年1回
プライバシー研修	個人情報の適切な取り扱いや法的責任を学び、利用者の尊厳と権利を守るための具体的な実践方法を確認する。	年1回
倫理 法令遵守研修	福祉職員としての倫理観や法令順守の重要性を理解し、適切な対応や判断力を養うことで業務の適正化を図る。	年1回
安全対策研修	事故の発生要因を分析し、予防策や再発防止のための取り組みを学び、利用者の安全を確保する対策を強化。	年2回 採用時
緊急時の 対応研修	急変時や災害時の対応マニュアルを確認し、迅速かつ適切な判断と行動ができるよう、実践的な知識と技術を習得。	年2回
感染症及び食中毒 の発生防止研修	感染症や食中毒のリスクを理解し、予防策や蔓延防止対策を学ぶことで、安全な介護環境を維持する。	年2回 採用時

研修名	研修内容	実施
身体拘束 排除研修	身体拘束のリスクや法的規制を理解し、適切な代替ケアを、拘束を最小限に抑える取り組みを促進する。	年2回 採用時
非常災害時 対応研修	火災・地震・水害などの災害発生時の対応方法を学び、利用者の安全を確保するための実践的な知識を習得。	年2回
医療に関する研修	高齢者の医療的ケアの基礎知識を学び、医療との連携を強化しながら、安全で適切な介護の提供を目指す。	年1回
ターミナルケア 研修	終末期のケアのあり方を学び、尊厳を重視した支援方法や家族への対応を含めた総合的なケア技術を習得する。	年1回
精神的ケア研修	ストレスやバーンアウトの予防を目的に、メンタルヘルスのセルフケア方法やストレスマネジメントについて学ぶ。	年1回
高齢者虐待 防止研修	虐待の兆候や対応方法を学び、早期発見・防止策を強化し、適切な支援を提供するための知識を深める。	年2回 採用時
業務継続 計画研修	災害や緊急時における事業継続の重要性を理解し、業務の中断を最小限に抑える計画策定と実践方法を学ぶ	年2回 採用時
ハラスメント 防止研修	ハラスメントの種類や事例を学び、発生要因と対応策を理解し、安全で健全な職場環境の整備を目的とする。	年2回

6. 購入または改修

今年度、固定資産の購入及び修繕を予算計上する。

購入または改修	金額	理由
ノートパソコン(4台)	520,000	業務の効率化のため

事業計画書

令和7年度
デイサービスセンター
宝寿やすらぎ

社会福祉法人 宝寿会

1. 事業目標

「アクティブ・デイ」

“アクティブ・デイ”を通じて、心も身体もいきいきと過ごせる日常を提供します。運動プログラムの充実や音楽療法、野外活動、そしてリラクゼーション効果の高いウオーターベッドを取り入れ、PT の地域 PR とリハビリ効果の数値化で質の高い支援を実現。職員のスキル向上と利用者満足度の向上を図り、地域に開かれた福祉拠点として外部利用者の獲得にも注力します。

2. 達成項目

運動プログラムの強化	PT の地域への PR	利用者の満足度を上げる
音楽療法	<u>アクティブ・デイ</u>	職員のスキルアップ
外部利用者の獲得	野外活動	リハビリ効果の数値化

3. 年間行事計画

一人ひとりの利用者が、家族や地域住民とともに過ごす時間を作り、めりはりのある生活や馴染みの習慣が継続できるように季節に応じた行事を計画する。

月	行事内容	月	行事内容
4月	・お花見カフェ	10月	・お出かけ
5月	・季節の作品作り	11月	・季節の作品作り
6月	・お出かけ	12月	・イルミネーション点灯 ・クリスマス会
7月	・七夕	1月	・季節の作品作り
8月	・運営推進会議	2月	・節分祭 ・運営推進会議
9月	・敬老会	3月	・ひな祭り ・写真展(1年を振り返って)

4. 各種委員会

法令遵守及びサービスの質の向上を図るため、各委員会で多職種が協働することにより、効果的に事業を展開する。

委員会名	目的	開催
安全対策委員会	事故防止委員会は事故の未然防止と発生時の適切対応を図り、対策と再発防止の実施を目的とする。	3ヶ月 1回

委員会名	目 的	開 催
虐待防止 委員会	利用者の権利を守り、虐待や身体拘束の防止と適切なケア体制の整備を図ることを目的とする。	3ヶ月 1回
身体拘束適正化 委員会	身体拘束ゼロを目指し、必要に応じた適正対応と施設内での適切な議論・管理を行うことを目的とする。	3ヶ月 1回
感染症対策 委員会	感染症や食中毒の予防と発生時の適切対応を図り、施設内の感染リスク最小化を目的とする。	3ヶ月 1回
業務継続計画 (BCP)委員会	災害や感染症流行時にも介護サービスを継続し、安全確保を図るBCPの策定・運用を目的とする。	3ヶ月 1回
ハラスメント対策 委員会	ハラスメント防止と安全な職場環境の確保を図り、職員・利用者・家族間の良好な関係維持を目的とする。	3ヶ月 1回
生産性向上 委員会	業務の効率化と職員の負担軽減を図り、より良い介護サービスを提供することを目的とする。	3ヶ月 1回

5. 職員研修

職員の資質の向上を図り、より質の高いサービスを実行していくために、毎月、各委員会が中心となって次のとおり施設内研修を実施する。

研修名	研 修 内 容	実施
認知症ケア研修	認知症の理解を深め、適切なケア方法やコミュニケーション技術を習得し、尊厳を守る支援の実践を学ぶ。	年1回
プライバシー研修	個人情報の適切な取り扱いや法的責任を学び、利用者の尊厳と権利を守るための具体的な実践方法を確認する。	年1回
倫理 法令遵守研修	福祉職員としての倫理観や法令順守の重要性を理解し、適切な対応や判断力を養うことで業務の適正化を図る。	年1回
事故の発生 防止研修	事故の発生要因を分析し、予防策や再発防止のための取り組みを学び、利用者の安全を確保する対策を強化する。	年1回 採用時
緊急時の対応 研修	急変時や災害時の対応マニュアルを確認し、迅速かつ適切な判断と行動ができるよう、実践的な知識と技術を習得。	年1回
感染症及び食中毒 の発生防止研修	感染症や食中毒のリスクを理解し、予防策や蔓延防止対策を学ぶことで、安全な介護環境を維持する。	年1回 採用時
身体拘束排除 研修	身体拘束のリスクや法的規制を理解し、適切な代替ケアを、拘束を最小限に抑える取り組みを促進する。	年1回 採用時
非常災害時 対応研修	火災・地震・水害などの災害発生時の対応方法を学び、利用者の安全を確保するための実践的な知識を習得する。	年1回
高齢者虐待 防止研修	虐待の兆候や対応方法を学び、早期発見・防止策を強化し、適切な支援を提供するための知識を深める。	年1回 採用時

研修名	研修内容	実施
業務継続計画 研修	災害や緊急時における事業継続の重要性を理解し、業務の中断を最小限に抑える計画策定と実践方法を学ぶ	年1回 採用時
ハラスメント 防止研修	ハラスメントの種類や事例を学び、発生要因と対応策を理解し、安全で健全な職場環境の整備を目的とする。	年2回

6. 購入または改修

今年度、固定資産の購入及び修繕を予算計上する。

購入または改修	金額	理由
ウォーターベッド	2,100,000	故障のため

事業計画書

令和7年度
ヘルパーステーションやすらぎ

社会福祉法人 宝寿会

1. 事業目標

「サービス提供の質の向上」

ご利用者とご家族が安心して過ごせる生活を支えるため、安全・安心を最優先にしたサービスを提供します。一人ひとりの想いに寄り添い、事故のない日常を継続できるよう、スタッフ全員が心をつにし、専門性と人間力を磨きながら、あたたかく信頼される支援の実現を目指します。

2. 達成項目

利用者・家族との信頼関係の構築	地域の医療機関との協力関係の強化	スタッフ同士の円滑なコミュニケーションと利用者の情報共有
緊急時の迅速で柔軟な対応	<u>サービス提供の質の向上</u>	スタッフの定期的な介護技術の研修と向上
スタッフのメンタルケアとサポート体制の強化	リスクマネジメントの強化	サービスの継続的な見直しや改善

3. 各種委員会

法令遵守及びサービスの質の向上を図るため、各委員会で多職種が協働することにより、効果的に事業を展開する。

委員会名	目的	開催
安全対策委員会	事故防止委員会は事故の未然防止と発生時の適切対応を図り、対策と再発防止の実施を目的とする。	3ヶ月 1回
虐待防止委員会	利用者の権利を守り、虐待や身体拘束の防止と適切なケア体制の整備を図ることを目的とする。	3ヶ月 1回
身体拘束適正化委員会	身体拘束ゼロを目指し、必要に応じた適正対応と施設内での適切な議論・管理を行うことを目的とする。	3ヶ月 1回
感染症対策委員会	感染症や食中毒の予防と発生時の適切対応を図り、施設内の感染リスク最小化を目的とする。	3ヶ月 1回
業務継続計画（BCP）委員会	災害や感染症流行時にも介護サービスを継続し、安全確保を図る BCP の策定・運用を目的とする。	3ヶ月 1回
ハラスメント対策委員会	ハラスメント防止と安全な職場環境の確保を図り、職員・利用者・家族間の良好な関係維持を目的とする。	3ヶ月 1回
生産性向上委員会	業務の効率化と職員の負担軽減を図り、より良い介護サービスを提供することを目的とする。	3ヶ月 1回

4. 職員研修

一人ひとりの利用者が、家族や地域住民とともに過ごす時間を作り、メリハリのある生活や馴染みの習慣が継続できるように季節に応じた次の行事を計画する。

研修名	研修内容	実施
認知症ケア研修	認知症の理解を深め、適切なケア方法やコミュニケーション技術を習得し、尊厳を守る支援の実践を学ぶ。	年1回
プライバシー研修	個人情報適切な取り扱いや法的責任を学び、利用者の尊厳と権利を守るための具体的な実践方法を確認する。	年1回
接遇研修	利用者や家族との適切な対応方法を学び、信頼関係の構築やサービス向上に必要なコミュニケーションを習得する。	年1回
倫理 法令遵守研修	福祉職員としての倫理観や法令順守の重要性を理解し、適切な対応や判断力を養うことで業務の適正化を図る。	年1回
事故の発生 防止研修	事故の発生要因を分析し、予防策や再発防止のための取り組みを学び、利用者の安全を確保する対策を強化する。	年1回 採用時
緊急時の対応研修	急変時や災害時の対応マニュアルを確認し、迅速かつ適切な判断と行動ができるよう、実践的な知識と技術を習得。	年1回
感染症及び食中毒 の発生防止研修	感染症や食中毒のリスクを理解し、予防策や蔓延防止対策を学ぶことで、安全な介護環境を維持する。	年1回 採用時
非常災害時 対応研修	火災・地震・水害などの災害発生時の対応方法を学び、利用者の安全を確保するための実践的な知識を習得する。	年1回
高齢者虐待 防止研修	虐待の兆候や対応方法を学び、早期発見・防止策を強化し、適切な支援を提供するための知識を深める。	年1回 採用時
業務継続計画研修	災害や緊急時における事業継続の重要性を理解し、業務の中断を最小限に抑える計画策定と実践方法を学ぶ	年1回 採用時
ハラスメント 防止研修	ハラスメントの種類や事例を学び、発生要因と対応策を理解し、安全で健全な職場環境の整備を目的とする。	年2回

5. 購入または改修

今年度、固定資産の購入及び修繕を予算計上する。

金額	購入または改修	理由

事業計画書

令和7年度
特別養護老人ホーム
四季の郷

社会福祉法人 宝寿会

1. 事業目標

「経営の安定化と収益向上」

入居率の向上を重点目標とし、早期満床の実現を目指します。入居者に選ばれる魅力ある施設づくりを推進するとともに、職員の人材確保と育成にも積極的に取り組みます。職員一人ひとりの専門性とサービスの質を高めることで、入居者が安心して暮らせる生活環境を提供します。地域に信頼され、選ばれ続ける施設運営の実現を目指します。

2. 達成項目

職員の専門スキル向上（介護技術の向上）	職員確保（人材確保）	新規入居者獲得の継続
入居者と家族との関係性の構築	経営の安定化と収益向上	定着率の向上
稼働率を意識する	組織力の強化	職員が共通の目的を持つ

3. 年間行事計画

一人ひとりの利用者が、家族や地域住民とともに過ごす時間を作り、メリハリのある生活や馴染みの習慣が継続できるように時節に応じた次の行事を計画する。

月	行事内容	月	行事内容
4月	お花見、アニマルセラピー	5月	ドライブ（外食）
6月	ドライブ（外食）	7月	七夕まつり
8月	花火大会	9月	敬老会、創立記念日
10月	ドライブ	11月	紅葉狩り、焼き芋作り
12月	クリスマス会	1月	初詣
2月	節分祭	3月	ひな祭り会

4. 各種委員会

法令遵守及びサービスの質の向上を図るため、各委員会で多職種が協働することにより、効果的に事業を展開する。

委員会名	目的	開催
身体拘束適正化委員会	身体拘束ゼロを目指し、必要に応じた適正対応と施設内での適切な議論・管理を行うことを目的とする。	毎月1回
虐待防止委員会	利用者の権利を守り、虐待や身体拘束の防止と適切なケア体制の整備を図ることを目的とする。	毎月1回

委員会名	目 的	開 催
事故予防対策委員会	事故防止委員会は事故の未然防止と発生時の適切対応を図り、対策と再発防止の実施を目的とする。	毎月1回
感染症対策委員会	感染症や食中毒の予防と発生時の適切対応を図り、施設内の感染リスク最小化を目的とする。	毎月1回
褥瘡予防委員会	褥瘡への理解を深め、対象者やリスクの高い入居者に対し受診や情報共有を行い、早期完治を目指す。	毎月1回
食事サービス委員会	健康管理に配慮し食事内容や形態に対応。多職種連携で行事食や楽しい雰囲気を提供。	毎月1回
入所判定委員会	入居希望者の可否判断及び優先順位を決定し、入居までの流れを円滑に行っていく。	毎月1回 (臨時)
衛生委員会	労働災害の発生状況と再発防止策を協議し、災害の未然防止に向けた対策を講じることを目的とする。	毎月1回
災害対策委員会	利用者と職員の安全確保のため緊急時対応体制を整備し、防災教育で災害対策と対応力を強化します。	3ヶ月 1回
生産性向上委員会	業務の効率化と職員の負担軽減を図り、より良い介護サービスを提供することを目的とする。	年4回
業務継続計画(BCP)委員会	災害や感染症流行時にも介護サービスを継続し、安全確保を図る BCP の策定・運用を目的とする。	年2回
サービス向上委員会	介護サービスの質の向上に向けて、サービスの質の評価に取り組むことを目的とする。	年2回 (7月・2月)
接遇委員会	挨拶や声かけ、言葉遣い・表情・態度等を踏まえ、接遇マナーの意識づけを全職員に周知します。	3ヶ月 1回
広報活動委員会	入居者の様子を写真で記録し家族へ近況報告。HPも活用し施設情報を発信します。	毎月1回
レクリハ委員会	入居者・利用者に季節にあった行事等を企画実行し行っていく。	3ヶ月 1回

5. 職員研修

職員の資質の向上を図り、より質の高いサービスを提供していくため、各委員会が中心となり施設内研修を実施する。

月	研 修 名	対 象	研修担当
4月	倫理及び法令遵守、接遇研修	全職員	施設長・人事担当
5月	食中毒及び感染症の予防と対策	全職員	看護師・管理栄養士
6月	身体拘束、虐待防止について①	全職員	介護主任
7月	認知症について	全職員	介護主任

月	研 修 名	対 象	研修担当
8月	リスクマネジメント研修①	全職員	施設長・生活相談員
9月	防火防災研修	全職員	防火管理者
10月	感染症予防研修	全職員	看護師
11月	権利擁護、虐待防止に関する研修	全職員	生活相談員
12月	ターミナルケア、看取り研修	全職員	施設長・看護師
1月	介護保険、ケアプランに関する研修	全職員	介護支援専門員
2月	身体拘束、虐待防止について②	全職員	介護副主任
3月	リスクマネジメント研修②	全職員	施設長・生活相談員

※ 研修に参加できない職員については、後日資料(場合によっては、動画視聴を促す)とアンケートを配布し期日までに提出させる。

6. 購入または改修

今年度、固定資産の購入及び修繕を予算計上する。

購入または改修	金額	理由

事業計画書

令和7年度
四季の郷
短期入所生活介護事業

社会福祉法人 宝寿会

1. 事業目標

「サービス内容の充実」

施設開設から3年目を迎えるにあたり、組織力の強化と安定した経営継続の土台づくりを進めていきます。職員が共通の目的を持ち、専門スキルの向上に努めることで、利用者様の新規・継続利用へと繋がります。また、全職員が経営意識を持ち、入居者の獲得や稼働率を意識したサービス提供に取り組み、地域に選ばれる施設づくりを推進していきます。

2. 達成項目

職員の専門スキル向上(介護技術の向上)	職員確保 (人財確保)	新規入居者獲得の継続
入居者と家族との関係性の構築	<u>サービス内容の充実</u>	定着率の向上
稼働率を意識する	各イベントの充実	職員が共通の目的を持つ

3. 年間行事計画

一人ひとりの利用者が、家族や地域住民とともに過ごす時間を作り、メリハリのある生活や馴染みの習慣が継続できるように時節に応じた次の行事を計画する。

月	行事内容	月	行事内容
4月	お花見、アニマルセラピー	5月	ドライブ(外食)
6月	ドライブ(外食)	7月	七夕まつり
8月	花火大会	9月	敬老会、創立記念日
10月	ドライブ	11月	紅葉狩り、焼き芋作り
12月	クリスマス会	1月	初詣
2月	節分祭	3月	ひな祭り会

4. 各種委員会

法令遵守及びサービスの質の向上を図るため、各委員会で多職種が協働することにより、効果的に事業を展開する。

委員会名	目的	開催
身体拘束適正化委員会	身体拘束ゼロを目指し、必要に応じた適正対応と施設内での適切な議論・管理を行うことを目的とする。	毎月1回
虐待防止委員会	利用者の権利を守り、虐待や身体拘束の防止と適切なケア体制の整備を図ることを目的とする。	毎月1回

委員会名	目 的	開 催
事故予防対策委員会	事故防止委員会は事故の未然防止と発生時の適切対応を図り、対策と再発防止の実施を目的とする。	毎月1回
感染症対策委員会	感染症や食中毒の予防と発生時の適切対応を図り、施設内の感染リスク最小化を目的とする。	毎月1回
褥瘡予防委員会	褥瘡への理解を深め、対象者やリスクの高い入居者に対し受診や情報共有を行い、早期完治を目指す。	毎月1回
食事サービス委員会	健康管理に配慮し食事内容や形態に対応。多職種連携で行事食や楽しい雰囲気を提供。	毎月1回
入所判定委員会	入居希望者の可否判断及び優先順位を決定し、入居までの流れを円滑に行っていく。	毎月1回 (臨時)
衛生委員会	労働災害の発生状況と再発防止策を協議し、災害の未然防止に向けた対策を講じることを目的とする。	毎月1回
災害対策委員会	利用者と職員の安全確保のため緊急時対応体制を整備し、防災教育で災害対策と対応力を強化します。	3ヶ月 1回
生産性向上委員会	業務の効率化と職員の負担軽減を図り、より良い介護サービスを提供することを目的とする。	年4回
業務継続計画(BCP)委員会	災害や感染症流行時にも介護サービスを継続し、安全確保を図る BCP の策定・運用を目的とする。	年2回
サービス向上委員会	介護サービスの質の向上に向けて、サービスの質の評価に取り組むことを目的とする。	年2回 (7月・2月)
接遇委員会	挨拶や声かけ、言葉遣い・表情・態度等を踏まえ、接遇マナーの意識づけを全職員に周知します。	3ヶ月 1回
広報活動委員会	入居者の様子を写真で記録し家族へ近況報告。HPも活用し施設情報を発信します。	毎月1回
レクリハ委員会	入居者・利用者に季節にあった行事等を企画実行し行っていく。	3ヶ月 1回

5. 職員研修

職員の資質の向上を図り、より質の高いサービスを提供していくため、各委員会が中心となり施設内研修を実施する。

月	研 修 名	対 象	研修担当
4月	倫理及び法令遵守、接遇研修	全職員	施設長・人事担当
5月	食中毒及び感染症の予防と対策	全職員	看護師・管理栄養士
6月	身体拘束、虐待防止について①	全職員	介護主任
7月	認知症について	全職員	介護主任

月	研 修 名	対 象	研修担当
8月	リスクマネジメント研修①	全職員	施設長・生活相談員
9月	防火防災研修	全職員	防火管理者
10月	感染症予防研修	全職員	看護師
11月	権利擁護、虐待防止に関する研修	全職員	生活相談員
12月	ターミナルケア、看取り研修	全職員	施設長・看護師
1月	介護保険、ケアプランに関する研修	全職員	介護支援専門員
2月	身体拘束、虐待防止について②	全職員	介護副主任
3月	リスクマネジメント研修②	全職員	施設長・生活相談員

※ 研修に参加できない職員については、後日資料(場合によっては、動画視聴を促す)とアンケートを配布し期日までに提出させる。

6. 購入または改修

今年度、固定資産の購入及び修繕を予算計上する。

購入または改修	金 額	理 由

事業計画書

令和7年度
地域密着型特別養護老人ホーム
漫遊の郷

社会福祉法人 宝寿会

1. 事業目標

「経営の安定化と収益向上」

重点目標として早期の残り1ユニットの満床を目指します。加算取得を積極的に行い収益性を高めます。また、人材確保も積極的に行い育成にも力を入れていき、職員の満足度を高めながら離職率を低下させ安定した施設運営を目指します。

2. 達成項目

質の高いケアの提供	職員の働きやすい環境整備	運営推進会議の活用
家族とのコミュニケーション強化	<u>経営の安定化と収益向上</u>	稼働率の維持向上
新規入居者の獲得	報・連・相の徹底	業務の効率化

3. 年間行事計画

一人ひとりの利用者が、家族や地域住民とともに過ごす時間を作り、メリハリのある生活や馴染みの習慣が継続できるように時節に応じた次の行事を計画する。

月	行事内容	月	行事内容
4月	お花見、アニマルセラピー	5月	ドライブ(外食)
6月	ドライブ(外食)	7月	七夕まつり
8月	花火大会	9月	敬老会、創立記念日
10月	ドライブ	11月	紅葉狩り、焼き芋作り
12月	クリスマス会	1月	初詣
2月	節分祭	3月	ひな祭り会

4. 各種委員会

法令遵守及びサービスの質の向上を図るため、各委員会で多職種が協働することにより、効果的に事業を展開する。

委員会名	目的	開催
身体拘束適正化委員会	身体拘束ゼロを目指し、必要に応じた適正対応と施設内での適切な議論・管理を行うことを目的とする。	毎月1回
虐待防止委員会	利用者の権利を守り、虐待や身体拘束の防止と適切なケア体制の整備を図ることを目的とする。	毎月1回

委員会名	目 的	開 催
事故予防対策委員会	事故防止委員会は事故の未然防止と発生時の適切対応を図り、対策と再発防止の実施を目的とする。	毎月1回
感染症対策委員会	感染症や食中毒の予防と発生時の適切対応を図り、施設内の感染リスク最小化を目的とする。	毎月1回
褥瘡予防委員会	褥瘡への理解を深め、対象者やリスクの高い入居者に対し受診や情報共有を行い、早期完治を目指す。	毎月1回
食事サービス委員会	健康管理に配慮し食事内容や形態に対応。多職種連携で行事食や楽しい雰囲気を提供。	毎月1回
入所判定委員会	入居希望者の可否判断及び優先順位を決定し、入居までの流れを円滑に行っていく。	毎月1回 (臨時)
衛生委員会	労働災害の発生状況と再発防止策を協議し、災害の未然防止に向けた対策を講じることを目的とする。	毎月1回
災害対策委員会	利用者と職員の安全確保のため緊急時対応体制を整備し、防災教育で災害対策と対応力を強化します。	3ヶ月 1回
生産性向上委員会	業務の効率化と職員の負担軽減を図り、より良い介護サービスを提供することを目的とする。	年4回
業務継続計画(BCP)委員会	災害や感染症流行時にも介護サービスを継続し、安全確保を図るBCPの策定・運用を目的とする。	年2回
サービス向上委員会	介護サービスの質の向上に向けて、サービスの質の評価に取り組むことを目的とする。	年2回 (7月・2月)
接遇委員会	挨拶や声かけ、言葉遣い・表情・態度等を踏まえ、接遇マナーの意識づけを全職員に周知します。	3ヶ月 1回
広報活動委員会	入居者の様子を写真で記録し家族へ近況報告。HPも活用し施設情報を発信します。	毎月1回
レクリハ委員会	入居者・利用者に季節にあった行事等を企画実行し行っていく。	3ヶ月 1回

5. 職員研修

職員の資質の向上を図り、より質の高いサービスを提供していくため、各委員会が中心となり施設内研修を実施する。

月	研 修 名	対 象	研修担当
4月	倫理及び法令遵守、接遇研修	全職員	施設長・人事担当
5月	食中毒及び感染症の予防と対策	全職員	看護師・管理栄養士
6月	身体拘束、虐待防止について①	全職員	介護主任
7月	認知症について	全職員	介護主任

月	研 修 名	対 象	研修担当
8月	リスクマネジメント研修①	全職員	施設長・生活相談員
9月	防火防災研修	全職員	防火管理者
10月	感染症予防研修	全職員	看護師
11月	権利擁護、虐待防止に関する研修	全職員	生活相談員
12月	ターミナルケア、看取り研修	全職員	施設長・看護師
1月	介護保険、ケアプランに関する研修	全職員	介護支援専門員
2月	身体拘束、虐待防止について②	全職員	介護副主任
3月	リスクマネジメント研修②	全職員	施設長・生活相談員

※ 研修に参加できない職員については、後日資料(場合によっては、動画視聴を促す)とアンケートを配布し期日までに提出させる。

6. 購入または改修

今年度、固定資産の購入及び修繕を予算計上する。

購入または改修	金額	理由

事業計画書

令和7年度
多機能型事業所かみかわ倶楽部
就労継続支援 A 型 春夏秋冬

社会福祉法人 宝寿会

1. 事業目標

「働く目的を一緒に考える」

一般就労が困難な障害者に対し、就労の機会を提供し、自立した日常生活および社会生活を営めるよう支援します。職員は必要最低限の体制で運営し、厳しい業務が予想されますが、利用者の働く力を引き出し、主体的に作業できる環境を整え、生産活動の改善と安定した事業所運営を目指します。

2. 達成項目

事業ができること、やるべきことを明確にする	利用者特性を考慮した支援計画の策定	生産活動の改善と事業収益の拡大
地域への情報発信と地域への参画・連携	<u>働く目的を一緒に考える</u>	職員の専門知識とスキル向上
事業所及び地域の災害対策	働きやすい環境作りを提供する	働く力を評価する

3. 年間行事計画

一人ひとりの利用者が、事業所利用の意義を実感し、利用者・職員が遣り甲斐と楽しさを共有する機会として、時節に応じた次の行事を計画する。

月	行事内容
8月	・夏の懇親会
12月	・クリスマス会

4. 各種委員会

法令遵守及びサービスの質の向上を図るため、各委員会で職員が協働することにより、効果的に事業を展開する。

委員会名	活動目標	活動回数
身体拘束適正化委員会	身体拘束ゼロを目指し、必要に応じた適正対応と施設内での適切な議論・管理を行うことを目的とする。	年2回
虐待防止委員会	利用者の権利を守り、虐待や身体拘束の防止と適切なケア体制の整備を図ることを目的とする。	年2回
感染症対策委員会	感染症や食中毒の予防と発生時の適切対応を図り、施設内の感染リスク最小化を目的とする。	年2回
業務継続計画(BCP)委員会	災害や感染症流行時にも介護サービスを継続し、安全確保を図る BCP の策定・運用を目的とする。	年2回

5. 職員研修

職員の資質の向上を図り、より質の高いサービスを実行していくために、次のとおり施設内研修を実施する。

月	研 修 名	対 象	研修担当
4 月	事業報告及び事業計画	全職員	管理者
5 月	宝寿会理念及び経営	全職員	法人本部
6 月	感染症予防研修	全職員	生活支援員
8 月	身体拘束廃止、虐待防止研修	全職員	職業指導員
9 月	災害・避難訓練	全職員	管理者
11 月	BCP 研修	全職員	管理者
1 月	サービス向上取り組み	全職員	サービス管理責任者
3 月	災害・避難訓練	全職員	管理者

6. 購入または改修

今年度、固定資産の購入及び修繕を予算計上する。

購入または改修	金 額	理 由
ノートパソコン	150,000	メインで使用中のデスクトップ PC が使用年数 5 年を経て作動が遅くなっているため

事業計画書

令和7年度
多機能型事業所かみかわ倶楽部
就労継続支援B型 わかば

社会福祉法人 宝寿会

1. 事業目標

「利用者増、工賃向上により充実した生活支援をめざす」

利用者が自立した日常生活・社会生活を営めるよう、就労の機会や生産活動の場を提供し、知識・能力向上に必要な訓練や支援を適切に行います。精神的自立を促し、自立心の育成、身体機能の維持・向上、潜在的機能の開発に努め、生きがいを見出し地域社会で主体的に生活できるよう支援を目指します。

2. 達成項目

関係機関、地域等との協力体制の構築	身辺習慣の習得 (服装・衛生・清潔感)	個別支援計画の充実
作業分析と業務拡大による工賃向上	充実した生活支援 をめざす	職員の資質・支援技術の向上
事業所及び地域の災害対策	生活習慣の習得 (時間認識・各種マナー)	利用者の意思尊重と権利擁護

3. 年間行事計画

一人ひとりの利用者が、事業所利用の意義を実感し、利用者・職員が遣り甲斐と楽しさを共有する機会として、時節に応じた次の行事を計画する。

月	行事内容
4月	・ドライブ(施設見学)
8月	・夏の懇親会(A・B合同)
10月	・ドライブ ・ショッピング
12月	・クリスマス会(A・B合同)

4. 各種委員会

法令遵守及びサービスの質の向上を図るため、各委員会で職員が協働することにより、効果的に事業を展開する。

委員会名	活動目標	活動回数
身体拘束適正化委員会	身体拘束ゼロを目指し、必要に応じた適正対応と施設内での適切な議論・管理を行うことを目的とする。	年2回
虐待防止委員会	利用者の権利を守り、虐待や身体拘束の防止と適切なケア体制の整備を図ることを目的とする。	年2回
感染症対策委員会	感染症や食中毒の予防と発生時の適切対応を図り、施設内の感染リスク最小化を目的とする。	年2回

委員会名	活動目標	活動回数
業務継続計画 (BCP)委員会	災害や感染症流行時にも介護サービスを継続し、安全確保を図るBCPの策定・運用を目的とする。	年2回

5. 職員研修

職員の資質の向上を図り、より質の高いサービスを実行していくために、次のとおり施設内研修を実施する。

月	研修名	対象	研修担当
4月	事業報告及び事業計画	全職員	管理者
5月	宝寿会理念及び経営	全職員	法人本部
6月	感染症予防研修	全職員	生活支援員
8月	身体拘束廃止、虐待防止研修	全職員	職業指導員
9月	災害・避難訓練	全職員	管理者
11月	BCP研修	全職員	管理者
1月	サービス向上取り組み	全職員	サービス管理責任者
3月	災害・避難訓練	全職員	管理者

6. 購入または改修

今年度、固定資産の購入及び修繕を予算計上する。

購入または改修	金額	理由